SONY®

4-441-192-**02**(1)

IC レコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

保証書は、裏面に印刷されています。

ICD-BX332

⚠警告 安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

接触禁止

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

目次

準備

基本の操作

その他の録音操作

その他の再生操作

編集する

メニューについて

パソコンを活用する

その他

困ったときは

箱の中身を確認する

本体(1)

USBケーブル(1)

ソニー単4形アルカリ乾電池(2)

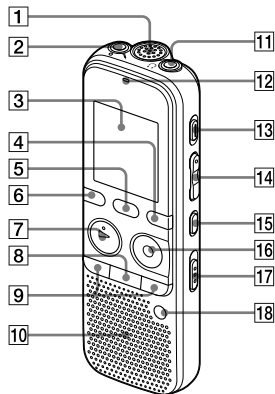
取扱説明書　本書(1)

クイックスタートガイド(1)

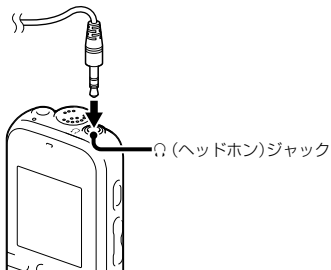
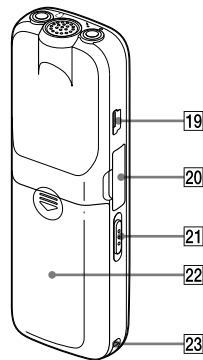
保証書
（取扱説明書の裏面に印刷されています。）

この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、本機を使用できなくなることがありますので、ご注意ください。

各部のなまえ

本体(表面)

1 内蔵マイク
2 🎤(マイク)ジャック*[1]
3 表示窓
4 表示/メニューボタン
5 シーンボタン
6 フォルダボタン
7 ►再生/停止・決定ボタン*[1]
8 ■(停止)ボタン
9 －⏮/⏭＋(早戻し/早送り/選択)ボタン
10 スピーカー
11 🎧(ヘッドホン)ジャック*[2]
12 録/再ランプ
13 消去ボタン
14 音量－/＋*[1]ボタン
15 ⟲(リピート) A-Bボタン
16 ● 録音/一時停止ボタン
17 ノイズカットスイッチ
18 トラックマークボタン

＊1 凸点（突起）がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

＊2 ヘッドホン（別売）を 🎧（ヘッドホン）ジャックに差し込みます。雑音が入るときはヘッドホンのプラグをきれいに拭いてください。

本体（裏面）

19 USB（USB）端子

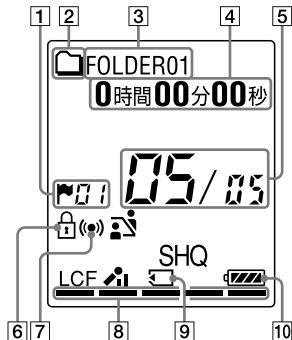
20 M2™/microSDメモリーカードスロット

21 ホールド・電源 入／切スイッチ

22 電池ぶた

23 ストラップ取り付け部
（ストラップは付属していません。）

表示窓について

停止時

1 トラックマーク表示
現在位置のトラックマーク番号が表示されます。トラックマークが設定されているときにだけ表示されます。

2 フォルダ情報表示
：録音可能フォルダ
：再生専用フォルダ
：ポッドキャストフォルダ

3 フォルダ名表示

4 ファイル情報表示
表示／メニューボタンを押して、ファイル情報を順に切り換えることができます。
経過時間、残り時間、録音日時、ファイル名、タイトル、アーティスト名が順に表示されます。
：ファイル名
：タイトル
：アーティスト名（再生時のみ）

5 位置情報表示
選んだファイル番号が分子に、フォルダ内の総ファイル数が分母に表示されます。

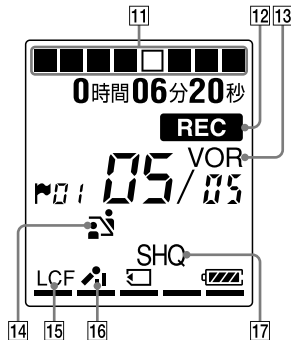
6 保護マーク表示
ファイルが保護設定されているとき表示されます。

7 アラーム表示
ファイルにアラームが設定されているとき表示されます。

8 メモリー残量表示
録音中に残量が減ると、ひとつずつ消えていきます。

9 メモリーカード表示
現在使用しているメモリーがメモリーカードのときにのみ表示されます。内蔵メモリーを使用中は何も表示されません。

10 電池マーク表示

録音時

11 録音時のアニメーション表示
録音の進行状況をアニメーション表示します。

12 録音表示
録音中に表示されます。

13 VOR録音表示
「VOR」が「オン」に設定されているときに表示されます。

14 シーンセレクト設定表示
選択しているシーンが表示されます。シーンが設定されているときにだけ表示されます。
：会議
：ボイスメモ
：インタビュー
：おけいこ
：オーディオ入力

15 LCF表示
「LCF(Low Cut)」が「オン」に設定されているときに表示されます。

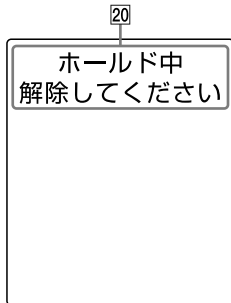
16 マイク感度表示
録音時のマイクの感度が表示されます。
：高
：中
：低

17 録音モード表示
停止中はメニューで設定されている録音モードが、再生中または録音中はそのファイルの録音モードが表示されます。
SHQ：モノラル超高音質モード (192kbps(MONO))
HQ：モノラル高音質モード (128kbps(MONO))
SP：モノラル標準モード (48kbps(MONO))
LP：モノラル長時間モード (8kbps(MONO))

再生時

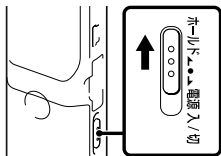
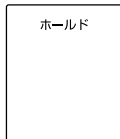
18 再生モード表示
1：1件ファイルリピート
A-B：A-Bリピート
速度 x2.00：DPC再生（x0.50 ～ x2.00）
ALARM：アラーム再生

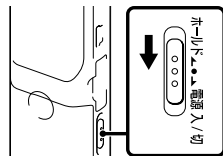
19 EASY-S（イージーサーチ）表示
「イージーサーチ」が「オン」に設定されているときに表示されます。

ホールド状態時

20 ホールド表示
誤操作防止(ホールド)状態でボタンが押されたときに表示されます。すべてのボタン操作が無効になっています。
ホールドを解除するには、ホールド・電源 入/切スイッチを中央位置にスライドします(14ページ)。

誤操作を防止する（ホールド）

本機を持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にすることができます（ホールド）。

本機をホールド状態にするには

ホールド・電源 入／切スイッチを「ホールド」の方向にスライドします。
「ホールド」が約3秒間表示され、すべてのボタン操作が無効になります。

ホールド中にボタンを操作した場合、「ホールド中 解除してください」が表示されます。

ホールドを解除するには

ホールド・電源 入／切スイッチを中央位置にスライドします。

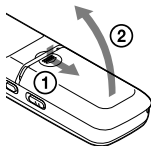
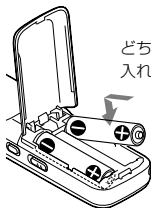
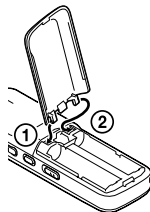
ご注意

録音中にホールドにした場合、すべてのボタン操作が無効になります。録音を止めるには、まずホールドを解除してください。

ホールド中でもアラーム再生は止められます。

アラーム再生時、どのボタンを押してもアラーム音やファイル再生を止めることができます。（通常のファイル再生は停止できません。）

電池を入れる

1 電池ぶたを矢印の方向へずらして開ける。

2 単4形アルカリ乾電池(付属)を2本入れ、ふたを閉める。

電池ぶたは落としたり、無理な力を加えたりするとはずれることがあります。そのときは上の図のようにはめ直してください。

お買い上げのあと初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま長時間お使いにならなかったあとに電池を入れたときには、時計設定画面が表示されます。「時計を合わせる」(18ページ)の手順に沿って時計を合わせてください。

ヒント

- 電池を交換する際、電池を取りはずしても録音したファイルやアラーム設定は消えません。
- 電池を交換する際、電池を取りはずしても約1分間、時計は動いています。

使用できる電池と充電池

本機では、以下の乾電池、充電池をお使いになれます。

- 単4形アルカリ乾電池2本（付属）
- 充電式ニッケル水素電池単4形（別売）：NH-AAA-2BKB

充電器は、以下の製品をご利用ください。

- ニッケル水素電池専用充電器・充電池セット（別売）：BCG34HW24K

ご注意

- 本機ではニッケル水素電池を充電することはできません。
- 乾電池は電池のメーカーや種類によって性能のばらつきがあり、使用時間の目安に対して特に低温下では短くなる場合があります。
- 乾電池を交換するときは、必ず2本とも新しい乾電池に交換してください。
- 単4形アルカリ乾電池は充電できません。
- 長時間ご使用にならない場合は、電池の消耗を抑えるために、電池をはずしておくことをおすすめします。

使用できない電池

マンガン電池

電池を交換する時期

電池の残量が少なくなってくると、表示窓のアニメーション表示でお知らせします。

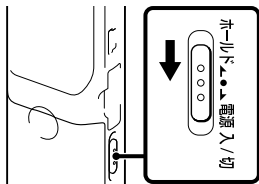
電池の残量表示

：「電池が残りわずかです」が表示されます。電池の交換時期が近づいています。

↓

：「電池残量がありません」が表示され、操作ができなくなります。

電源を入れる

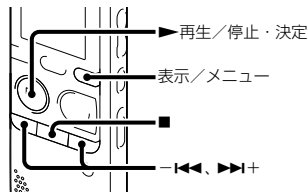
電源を入れるには

ホールド・電源 入／切スイッチを「電源 入／切」の方向へ1秒以上スライドすると、「アクセス中...」のアニメーションが表示され電源が入ります。

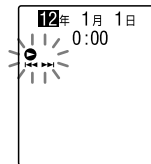
電源を切るには

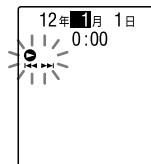
「電源オフ」が表示されるまで、ホールド・電源 入／切スイッチを「電源 入／切」の方向へスライドさせると、電源が切れます。

ヒント

- 長時間ご使用にならない場合は、電源を切っておくことをおすすめします。
- 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。（お買い上げ時は、設定は10分になっています。）メニューでオートパワーオフ設定を変更すると、電源オフまでの時間を変更できます（76ページ）。

時計を合わせる

アラーム機能を使用したり、録音した日時を記録するためには、本機の時計を合わせておく必要があります。
お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま約1分以上お使いにならなかったあとに電池を入れたときは、「時計を設定してください」のメッセージのあとに、時計設定画面が表示されます。

1 年を合わせる。
－⏮または⏭＋ボタンを押して、数字を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。
年を設定するときは、西暦の下2桁の数字を選んでください。

►再生／停止・決定ボタンを押すと、月表示にカーソルが移動します。

2 手順1と同様に、月日と時分を合わせる。
－⏮または⏭＋ボタンを押して、数字を選び、►再生／停止・決定ボタンを押して、月、日、時、分の順で設定します。

分まで設定すると「実行中...」のアニメーションが表示され、停止画面が表示されます。
何も録音されていないお買い上げ時は、以下のような画面が表示されます。

ご注意

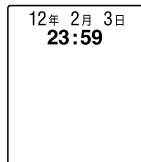
- それぞれの手順の間を1分以上あけると、時計合わせがキャンセルされ、停止画面に戻ります。
- 時計設定中に、時計設定に使用するボタン以外のボタンを誤って押すと、時計合わせがキャンセルされます。メニューを使って時計設定をやり直してください。

メニューを使って時計を合わせるには

停止中にメニューを使って時計を合わせることができます。
表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入り、詳細メニューから「時計設定」を選び、「自動（対応ソフトと同期）」または「手動」を選んで設定します。

「自動（対応ソフトと同期）」を選んだ場合、本機をパソコンにつないでアプリケーションソフトSound Organizerを起動すると、パソコンの時計に自動的に合わせます。

現在日時を表示するには

停止中に ■（停止）ボタンを押すと、現在日時が約3秒間表示されます。

録る

ご注意

- 録音を始める前に、必ず電池残量表示（16ページ）を確認してください。
- 録音中、本機に手などがあたったり、こすったりすると雑音が録音されてしまうことがあります。ご注意ください。

ヒント

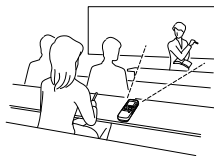
- 録音をする前に、あらかじめためし録りするか、録音モニター（45ページ）をしながら録音することをおすすめします。
- 録音の設定は、付属の「クイックスタートガイド」を参照してください。
- パソコンをインターネットに接続できる環境の場合、ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページ（http://www.sony.jp/support/ic-recorder/）で、Q&A（よくある問い合わせ情報）、動画でサポート（上手な録音方法（シーン別録音のコツ）ほか）などを見ることができます。

録音を始める

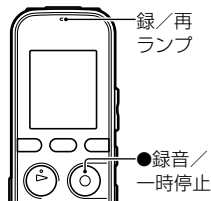
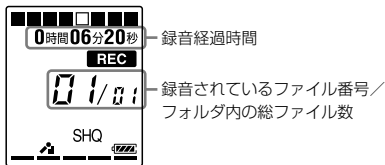
1 ホールド・電源 入／切スイッチを中央位置にスライドし、ホールドを解除する（14ページ）。

停止画面が表示されます。

2 録音したいフォルダを選ぶ（26ページ）。

3 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。

4 停止中に ● 録音／一時停止ボタンを押す。

録／再ランプがオレンジに点滅後、赤く点灯します。（メニュー「ランプ」を「オフ」に設定しているときは点灯しません（75ページ）。）

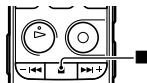
● 録音／一時停止ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。新しいファイルは自動的に一番最後に録音されます。

ヒント

表示／メニューボタンを押して、録音経過時間をほかの表示（残り時間、ファイル名など）に切り換えることができます（29ページ）。

録音を止める

1 ■（停止）ボタンを押す。

「アクセス中...」のアニメーションが表示され、今録音したファイルのはじめで停止します。

録音したファイルは、後ほどフォルダ名とファイル番号で探して再生することができます。

アクセス中のご注意

画面上に「アクセス中...」のアニメーションが表示されている間、または録／再ランプがオレンジに点滅している間は、メモリーへ録音データを記録しています。アクセス中は、電池をはずしたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

その他の操作

録音を一時停止する*	● 録音／一時停止ボタンを押す。 録音一時停止中は録／再ランプが赤く点滅し、「一時停止」表示が点滅します。
録音一時停止を解除する	もう一度 ● 録音／一時停止ボタンを押す。 先ほど録音していたファイルに続けて録音することができます。（録音一時停止後、録音を続けずに停止するときは、■（停止）ボタンを押します。）
今録音したばかりのファイルを聞く	► 再生／停止・決定ボタンを押す。 録音が解除され、今録音したファイルのはじめから聞くことができます。
早戻し（レビュー）再生する	録音中または録音一時停止中に－⏮ ボタンを長押しする。 録音が解除され、今録音したところが早戻し（レビュー）再生されます。 －⏮ ボタンを離すと、離したところから再生が始まります。

* 録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

ヒント

- 本機で録音されるファイルはMP3形式になります。
- ひとつのフォルダには最大199件のファイルが録音できます。

メモリー残量表示について

残量が減ると、ひとつずつ消えていきます。録音中に残り時間が10分を切るとメモリー残量表示が点滅し、残り時間が1分を切ると、カウンター表示が「残り時間」表示モードに切り替わり、残量表示とカウンター表示が点滅します。不要なファイルを消去してください。

シーンに合わせた録音をするには（シーンセレクト）

シーンセレクト機能を使って、さまざまな録音シーンに合わせて、録音モード（35ページ）やマイク感度（35ページ）などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます。シーンセレクトについて詳しくは33ページをご覧ください。

聞く

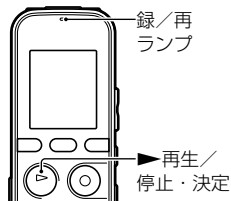
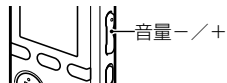
再生を始める

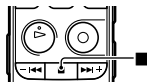
1 ホールド・電源 入／切スイッチを中央位置にスライドし、ホールドを解除する（14ページ）。

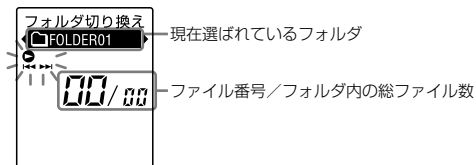
停止画面が表示されます。

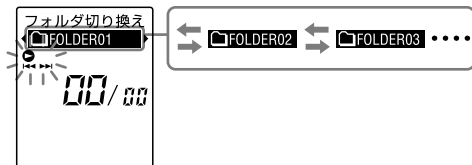
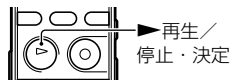
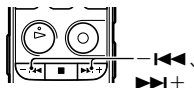
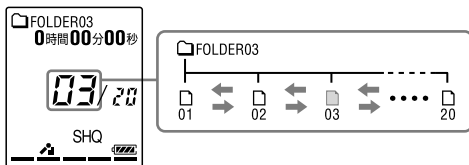
2 再生したいファイルを選ぶ（26ページ）。

3 ►再生／停止・決定ボタンを押す。

すぐに再生が始まり、録／再ランプが緑に点灯します。
（メニュー「ランプ」を「オフ」に設定しているときは点灯しません（75ページ）。）

4 音量－／＋ボタンを押して、音量を調節する。

再生を止める

1 ■（停止）ボタンを押す。

フォルダとファイルを選ぶ

1 フォルダボタンを押してフォルダ選択画面を表示する。

2 −⏮または⏭+ボタンを押してフォルダを選ぶ。

お買い上げ時には、🗀 FOLDER01 〜 05の5個のフォルダが作成されています。

3 ►再生/停止・決定ボタンを押す。

4 －◀◀ または▶▶I＋ボタンを押して、ファイルを選ぶ。

▶▶I＋ボタンを押すたびに、フォルダ内の後ろのファイルが、－I◀◀ボタンを押すたびに、前のファイルが選択されます。

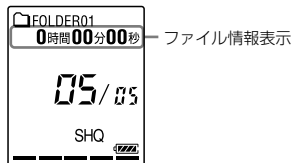
その他の操作

再生の途中、その位置で停止する	► 再生／停止・決定ボタンを押す。 もう一度 ► 再生／停止・決定ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。
今聞いているファイルの頭に戻る	－I◀◀ ボタンを短く1回押す。*1*2
前のファイル、さらに前のファイルに戻る	－I◀◀ ボタンを短く何回か押す。（停止中は押したままにすると、連続して戻ります。*3）
次のファイルに進む	▶▶I＋ボタンを短く1回押す。*1*2
さらに次のファイルに進む	▶▶I＋ボタンを短く何回か押す。（停止中は押したままにすると、連続して進みます。*3）

*1 トラックマークが設定されている場合は、前後のトラックマークの位置まで戻り、または進みます（62ページ）。

*2 メニュー「イージーサーチ」が「オフ」に設定されている場合の操作です（46ページ）。

*3 トラックマークには止まりません。

画面表示について

表示／メニューボタンを押して、ファイル情報を切り換えて確認することができます。本機で録音されたファイルは、以下のように表示されます。

経過時間：1ファイルの経過時間

残り時間：録音中は録音可能時間、停止中または再生中は1ファイルの残り時間

録音日時：録音した日時

🗋：ファイル名（停止中または再生中のみ）：年月日_番号(例：120101_001)

♫：タイトル（停止中または再生中のみ）：年月日_番号(例：120101_001)

👤：アーティスト名（再生中のみ）：アーティスト名（例：My Recording）

消す

ご注意

一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。

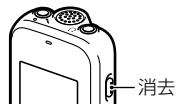
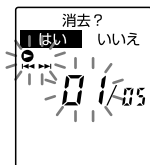
ファイルを選び消去する

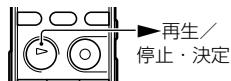
1 ホールド・電源 入／切スイッチを中央位置にスライドし、ホールドを解除する（14ページ）。

停止画面が表示されます。

2 停止中または再生中に消去したいファイルを選ぶ（26ページ）。

3 消去ボタンを押す。

「消去？」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

4 －⏮または⏭＋ボタンを押して、「はい」を選ぶ。

5 ▶ 再生／停止・決定ボタンを押す。

「消去中...」のアニメーションが表示され、ファイルが1件消去されます。ファイルを消すと、次のファイルが自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。

01番のファイルが削除され、以降のファイルが繰り上がり、フォルダ内のファイル数が05から04に減ります。

途中で消去をやめる

1 「ファイルを選び消去する」の手順4で「いいえ」を選び、► 再生／停止・決定ボタンを押す。

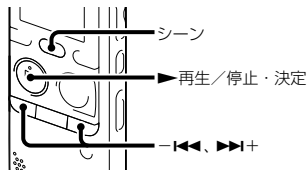
ほかのファイルを消去するには

「ファイルを選び消去する」の手順2から手順5を繰り返します。

ひとつのファイルの一部分だけ消去するには

ファイル分割（66ページ）で消去する部分としない部分に分け、消去したい部分のファイル番号を選んで、「ファイルを選び消去する」の手順3から手順5の操作をします。

録音の設定を変える

用途に合わせた録音シーンを選ぶ

さまざまな録音シーンに合わせて、録音モード（35ページ）やマイク感度（35ページ）などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます。

1 停止中にシーンボタンを押す。
シーンセレクト選択画面が表示されます。

2 －⏮または⏭＋ボタンを押して、お好みのシーンを選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

選んだシーンに対応したアイコンが表示されます。

会議（ ）	会議室での録音など、幅広い用途に適しています。
ボイスメモ（ ）	マイクを口元に近づけて録音するときに適しています。
インタビュー（ ）	1 ～ 2mくらいの距離で人の声を録音するときに適しています。
おけいこ（ ）	広い音声帯域で収音します。教室での講座や、合唱の練習を録音するときに適しています。
オーディオ入力（ ）	ポータブルCD ／ MDプレーヤー、テープレコーダーなど、ほかの機器の音声出力端子（ステレオミニジャック）と本機を接続してダビングするときの設定です。

ご注意

- 録音中にシーン設定することはできません。
- シーンセレクト選択画面が表示されてから、操作しない状態が60秒以上続くと、停止画面になります。

シーンセレクトの設定内容

それぞれのメニュー、設定項目について詳しくは35 ～ 37ページをご覧ください。

	会議()	ボイスメモ()	インタビュー()
VOR	オフ	オフ	オフ
録音モード	192kbps (MONO) (SHQ)	128kbps (MONO) (HQ)	192kbps (MONO) (SHQ)
マイク感度	中()	低()	中()
LCF(Low Cut)	オン	オン	オン
外部入力選択	MIC IN	MIC IN	MIC IN

	おけいこ()	オーディオ入力()
VOR	オフ	オフ
録音モード	192kbps (MONO) (SHQ)	192kbps (MONO) (SHQ)
マイク感度	中()	低()
LCF(Low Cut)	オフ	オフ
外部入力選択	MIC IN	Audio IN

ヒント

シーンセレクト以外にも上手に録音するための設定方法があります。

それぞれの用途に合わせた、より詳細な録音設定については、付属の「クイックスタートガイド」、およびICレコーダー サポート・お問い合わせページをご覧ください。

http://www.sony.jp/support/ic-recorder/

ご注意

シーンセレクトの設定内容を変更することはできません。録音モード（35ページ）やマイク感度（35ページ）などをお好みの設定に変更したい場合は、メニューで個別に設定を変更してください。

個別の録音設定項目を変更する

録音するファイルの録音モード(音質など)、マイク感度、LCF (Low Cut Filter)、外部入力を設定することができます。録音を始める前に設定します。

ご注意

シーンセレクト設定時は、設定できません。「シーンセレクト」を「オフ」にしてから操作してください。

1 停止中または録音中に表示/メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

2 −⏮または⏭+ボタンを押して、「詳細メニュー」を選び、▶再生/停止・決定ボタンを押す。

3 −⏮または⏭+ボタンを押して、変更したい項目を選び、▶再生/停止・決定ボタンを押す。
設定を変更します。

4 ■(停止)ボタンを押して、メニューモードを終了する。

録音モード

音質などを設定します。

192kbps(MONO)*	モノラル超高音質モード(画面には「SHQ」と表示)
128kbps(MONO)	モノラル高音質モード(画面には「HQ」と表示)
48kbps(MONO)	モノラル標準モード(画面には「SP」と表示)
8kbps(MONO)	モノラル長時間モード(画面には「LP」と表示)

* お買い上げ時の設定

マイク感度

マイク感度を設定します。

高	広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。
中*	会議室での録音やインタビューなど、通常の会話や打ち合わせの音声を録音するときに使用します。
低	口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。

* お買い上げ時の設定

LCF(Low Cut)

LCF（Low Cut Filter）機能を設定して、低い周波数の音をカットし、プロジェクターなどのノイズや風切り音を軽減することで音声をよりクリアに録音できます。

オン	LCF機能を有効にします。
オフ*	LCF機能を無効にします。

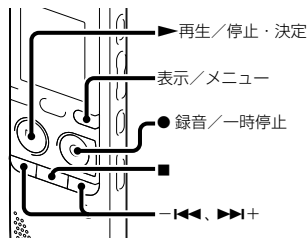
* お買い上げ時の設定

外部入力選択

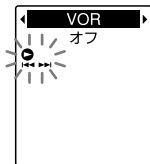
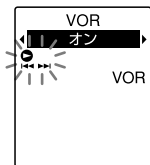
（マイク）ジャックから録音する外部入力を選択します。

MIC IN*	外部マイクをつないだときに選びます。
Audio IN	オーディオコードなど、外部マイク以外のものをつないだときに選びます。

* お買い上げ時の設定

音がしたとき自動録音する — VOR (Voice Operated Recording)録音

ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時停止するように、メニューで設定することができます。

1 停止中または録音中に表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

2 −⏮または⏭＋ボタンを押して、「VOR」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

3 −⏮または⏭＋ボタンを押して、「オン」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

4 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

5 ●録音／一時停止ボタンを押す。

「VOR」と **REC** が表示されます。

マイクで拾う音が一定レベル以下まで小さくなると、「一時停止」が点滅して、VOR録音が一時停止状態になります。

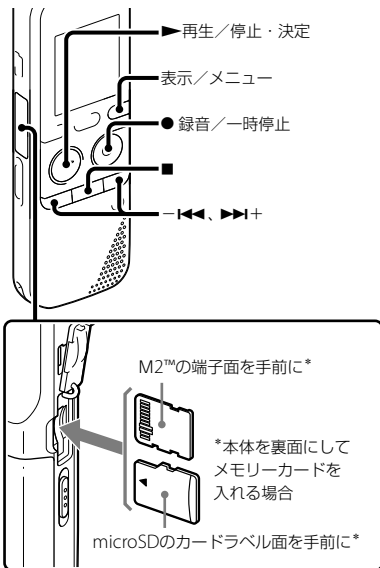
VOR録音一時停止状態のときに、マイクが一定レベル以上の大きさの音を拾うと、VOR録音が再開されます。

VOR録音を解除するには

手順3で「VOR」を「オフ」にします。

ご注意

VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り換えてください（35ページ）。マイク感度を切り換えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、メニューで「VOR」を「オフ」に設定してください。

メモリーカードに録音する

本機では、内蔵メモリーのほかに、別売のメモリーカードに音声を記録できます。

本機で使用できるメモリーカード

本機では、以下のメモリーカードをお使いになれます。

メモリーカード	対応
microSDカード（～ 2 GB）	○
microSDHCカード（4 GB ～ 32 GB）	○
microSDXCカード（64 GB以上）	×
M2™カード（～ 16 GB）	○

最新の動作確認済みメモリーカードについては、ICレコーダー サポート・お問い合わせページ
http://www.sony.jp/support/ic-recorder/
をご覧ください。

本書では、M2™とmicroSDカードを総称して「メモリーカード」と呼びます。
また、M2™/microSDメモリーカードスロットは「メモリーカードスロット」と呼びます。
メモリーカードに記録・再生できるファイルのサイズは本機の仕様上、1ファイルにつき500 MB未満です。

また、1枚のメモリーカードに記録できるファイル数は、本機の仕様上、最大4,074ファイル(フォルダ数が21の場合)です。

ご注意

すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

メモリーカードを入れる

録音する前に、メモリーカードに保存されているデータをパソコンに保存し、本機でフォーマットして空の状態にしてからお使いください(76ページ)。

1 停止中にメモリーカードスロットのカバーを開ける。

2 前ページの図の向きで、M2™またはmicroSDカードをメモリーカードスロットに、カチッと音がする奥までしっかり差し込み、カバーを閉める。

メモリーカードを取り出すには

メモリーカードを一度奥に押します。手前に出てきたら、メモリーカードスロットから取り出します。

フォルダとファイルの構成について

内蔵メモリーのフォルダとは別に、メモリーカード内にFOLDER01 ～ 05の5個のフォルダが作成されます。

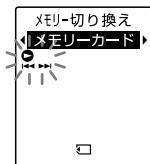
ご注意

- 録音/再生/フォーマット中は、メモリーカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 表示窓に「アクセス中...」のアニメーションが表示されている間はメモリーカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- メモリーカードが認識されない場合はメモリーカードを取り出し、再度入れ直してください。
- メモリーカードスロットのカバーは、しっかり閉じてください。また、挿入口には、液体・金属・燃えやすいものなど、メモリーカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

メモリーカードに切り換える

1 停止中に表示/メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

2 −⏮または⏭+ボタンを押して、「メモリー切り換え」を選び、►再生/停止・決定ボタンを押す。

3 −⏮または⏭＋ボタンを押して、「メモリーカード」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「内蔵メモリー」設定になっています。メモリーカードがフォーマット済みの場合は手順7に進んでください。

4 メモリーカードをフォーマットしていない場合は、−⏮または⏭＋ボタンを押して、「詳細メニュー」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

5 −⏮または⏭＋ボタンを押して、「フォーマット」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。
「フォーマット？」と表示されます。

6 −⏮または⏭＋ボタンを押して、「はい」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

7 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

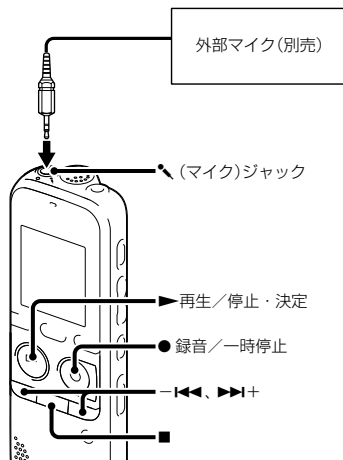
内蔵メモリーに戻すには

手順3で「内蔵メモリー」を選びます。

録音を開始するには

フォルダを選び、● 録音／一時停止ボタンを押します。詳しい録音方法については20ページをご覧ください。

接続して録音する

外部マイクをつないで録音する

別売のステレオマイクを接続し、録音モードを「SHQ」、「HQ」モードに設定すると、ステレオで録音できます。また、別売のステレオヘッドホンを使用することにより、ステレオ再生できます。

1 停止中に外部マイクを(マイク)ジャックにつなぐ。

画面に「外部入力選択」が表示されます。「外部入力選択」が表示されない場合には、メニューで設定してください(36ページ)。

2 −⏮または⏭+ボタンを押して、「MIC IN」を選び、►再生/停止・決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「MIC IN」設定になっています。

3 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

4 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。

入力レベルが適正ではない場合は、本機のマイク感度の設定を変更してください（35ページ）。

プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

5 ■（停止）ボタンを押して、録音を止める。

お使いになれるマイク

ソニー製エレクトレットコンデンサーマイクロホン（ステレオマイク） ECM-CS10、ECM-CZ10、ECM-DS70P、ECM-DS30P、ECM-CS3（別売）などをお使いいただけます。

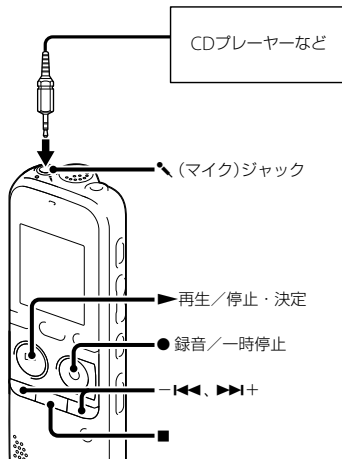
電話機や携帯電話の音声を録音する

別売の電話録音用マイクECM-TL3を使うと、電話機や携帯電話での自分と相手の声を録音することができます。

ICレコーダーの（マイク）ジャックにECM-TL3をつなぎ、電話のスピーカーをマイクロホンに当ててください。

ご注意

- 録音する場合には、本機と接続後、通話状態と録音レベルをご確認の上ご使用ください。
- 呼び出し音、発信音を録音した場合、会話が小さい音で録音されることがあります。そのような場合には、通話状態になってから本機を録音状態にしてください。
- 電話機の種類、回線の状況によってVOR機能（36ページ）が働かないことがあります。
- 本機を使って通話録音をした場合、万一、これらの不都合により録音されなかった場合は、一切の責任を負いません。

ほかの機器の音声を録音する

CDプレーヤーなどほかの機器の音声を本機に録音することによって、パソコンを使わなくても、音楽ファイルを作成することができます。
「シーンセレクト」で「オーディオ入力」を選ぶと、ほかの機器の音声を録音するのに適した録音設定になります。設定方法は33ページをご覧ください。

ヒント

- 録音をする前に、あらかじめためし録りするか、録音モニター(45ページ)をしながら録音することをおすすめします。
- 入力レベルが適正ではない場合は、ほかの機器のヘッドホン端子(ステレオミニジャック)を使って本機と接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。

1 停止中にほかの機器を本機につなぐ。

ほかの機器の音声出力端子(ステレオミニジャック)を別売のソニー製オーディオコード(99ページ)を使って、本機の (マイク)ジャックにつなぎます。
画面に「外部入力選択」が表示されます。「外部入力選択」が表示されない場合には、メニューで設定してください(36ページ)。

2 −⏮または⏭＋ボタンを押して、「Audio IN」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「MIC IN」設定になっています。

3 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

4 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

内蔵マイクは自動的に切れ、つないだ機器の音声を録音します。

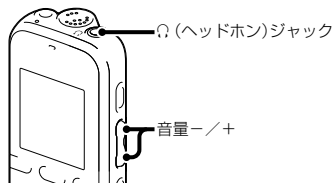
5 つないだ機器で再生を始める。

6 ■（停止）ボタンを押して、録音を止める。

ご注意

ほかの機器の出力がモノラルの場合、「録音モード」が「192kbps(MONO)」（SHQ）または「128kbps(MONO)」（HQ）に設定されていると、片方のチャンネルにしか音が録音されません。その場合は、「録音モード」を「48kbps(MONO)」（SP）または「8kbps(MONO)」（LP）に設定してください（35ページ）。

録音中に操作する

録音中の音をモニターする

市販のヘッドホンを (ヘッドホン)ジャックにつなぐと、録音中の音をモニターすることができます。
ヘッドホンからの音量(モニター音量)は、音量－／＋ボタンを押して調節します。録音される音量に影響はありません。

ご注意

ヘッドホン使用時に、ヘッドホンコードが本機に触れると、擦れ音として録音されてしまう場合があります。あらかじめコードを固定しておくことをおすすめします。

再生の設定を変える

より便利な再生方法

高音質で再生するには

- ヘッドホンで聞く：
  市販のヘッドホンを🎧（ヘッドホン）ジャックにつないでください。スピーカーからは音が出なくなります。
- 外部スピーカーで聞く：
  別売のアクティブスピーカーを🎧（ヘッドホン）ジャックにつないでください。

聞きたいところをすばやく探すには（イージーサーチ機能）

メニューの中で「イージーサーチ」を「オン」に設定しておくと、再生中に▶▶I＋または－I◀◀ボタンを何度か押して、聞きたいところまで早送り、早戻しをして聞くことができます。▶▶I＋ボタンを1回押すごとに約10秒先、－I◀◀ボタンを1回押すごとに約3秒前を再生します。
会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。

再生中に早送り／早戻しするには（キュー／レビュー）

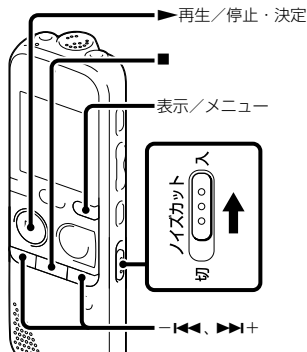
- 早送り（キュー）：
  再生中に▶▶I＋ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し（レビュー）：
  再生中に－I◀◀ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ送ったり、戻したりして聞きたいときに便利です。押し続けると、高速での早送り／早戻しになります。

💡最後のファイルの終わりまで再生または早送り（キュー）すると

- 最後のファイルの終わりまで来ると、「FILE END」表示が約5秒間点灯します。
- 「FILE END」と録／再ランプが消えると、最後のファイルの頭に戻って止まります。
- 「FILE END」の点灯中に－I◀◀ボタンを押したままにすると、早戻しされ、離したところから再生が始まります。

- 最後のファイルが長時間のファイルの場合で、ファイル中の後ろの方を探して再生したい場合は、▶▶I＋ボタンを押し続けていったんファイルの最後まで早送りして、「FILE END」表示の点灯中に－I◀◀ボタンを押して聞きたいところまで早戻しして探すと便利です。
- 最後のファイル以外の場合は、次のファイルの頭に送ってから再生中に早戻しするとすばやく探せます。

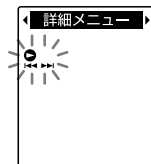
再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする ― ノイズカット機能

再生時にノイズカットスイッチを「入」にすると、音声以外の周辺ノイズをカットします。音声帯域を含むすべての周波数帯域のノイズを低減するため、クリアな音質で再生することができます。

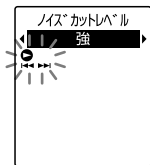
ご注意

- 録音した音声の状態によって、効果に違いが出る場合があります。
- 内蔵スピーカーで再生している場合は、ノイズカット機能は働きません。

ノイズカットレベルを設定するには

1 停止中または再生中に、表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

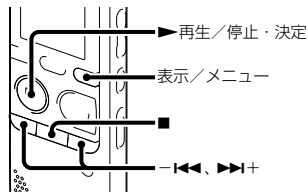
2 －I◀◀または▶▶I＋ボタンを押して、「詳細メニュー」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

3 －⏮またはI⏭＋ボタンを押して、「ノイズカットレベル」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

4 －⏮または⏭＋ボタンを押して、「強」または「弱」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「強」設定になっています。

5 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ノイズカットを解除するには

ノイズカットスイッチを「切」にします。

再生速度を調節する — DPC（Digital Pitch Control）

再生速度を0.50倍速から2.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。

1 停止中または再生中に、表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

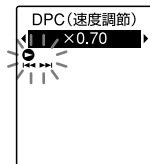
2 －⏮または⏭＋ボタンを押して、「DPC（速度調節）」を選び、▶再生／停止・決定ボタンを押す。

3 －⏮または⏭＋ボタンを押して、「オン」を選び、▶再生／停止・決定ボタンを押す。

4 －⏮または⏭＋ボタンを押して、再生速度を調節する。

－⏮ボタン：0.05倍速刻みで遅くする（x0.50～x1.00）

⏭＋ボタン：0.10倍速刻みで速くする（x1.00～x2.00）

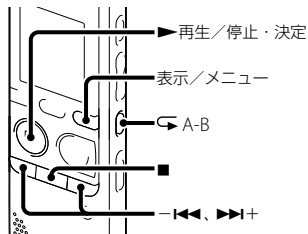
ボタンを長押しすると連続して設定できます。

お買い上げ時は、「x0.70」になっています。

通常の再生速度に戻すには

手順3で「オフ」を選びます。

ご注意

「DPC（速度調節）」を「オン」にして再生する場合、ノイズカット機能（47ページ）は働きません。

再生モードを変える

メニューやボタン操作で用途に応じた再生モードを選ぶことができます。

フォルダ内のファイルを連続再生するには

1 停止中または再生中に、表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

2 －I◄◄または►►I＋ボタンを押して、「詳細メニュー」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

3 －I◄◄または►►I＋ボタンを押して、「連続再生」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

4 −⏮または⏭＋ボタンを押して、「オン」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

5 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

1件ファイル再生に戻すには

手順4で「オフ」を選びます。

1件リピート再生するには

再生中に ►再生／停止・決定ボタンを長押しします。「⟲1」が表示され、そのファイルが繰り返し再生されます。

通常再生に戻るには、►再生／停止・決定ボタンを押します。

必要な部分だけを再生するには — A-Bリピート

1 再生中に ⟲（リピート） A-Bボタンを押して、A点を指定する。
「A-B B?」が表示されます。

2 もう一度 ⟲(リピート) A-Bボタンを押して、B点を指定する。
「⟲A-B」が表示されて、指定した区間が繰り返し再生されます。

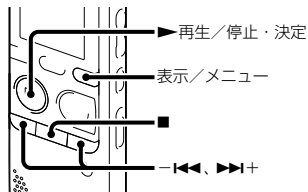
A-Bリピート再生を止めて通常の再生に戻すには：
►再生／停止・決定ボタンを押します。

A-Bリピート再生を停止するには：
■（停止）ボタンを押します。

A-Bリピートの範囲を変えるには：
A-Bリピート再生中にもう一度 ⟲(リピート) A-Bボタンを押すと、手順1に戻り、新しいA点が設定されます。手順2に従ってB点を指定します。

ご注意

A点およびB点は、ファイルの先頭または終端付近や、トラックマーク付近では設定できません。

希望の時刻に再生を始める — アラーム再生

あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともにファイルを再生できます。
特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に再生するように設定できます。
1ファイルにつき1件のアラームが設定できます。

1 アラーム再生したいファイルを表示させる。

2 アラーム設定をする。

① 停止中に表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

② −⏮または⏭＋ボタンを押して、「アラーム」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

③ −⏮または⏭＋ボタンを押して、「オン」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

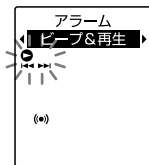
お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

その他の再生操作

3 アラーム再生したい日時、時刻を設定する。

① −⏮または⏭＋ボタンを押して、「日時」、「月曜日」や「火曜日」など設定したい曜日、または「毎日」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

② **「日時」を選んだ場合**：
「時計を合わせる」（18ページ）に従って年月日、時刻を設定する。
曜日や「毎日」を選んだ場合：
−⏮または⏭＋ボタンを押して、「時」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押し、同じように−⏮または ⏭＋ボタンを押して、「分」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

4 −⏮または⏭＋ボタンを押して、お好みのアラームパターンを選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「ビープ&再生」設定になっています。
「実行中...」のアニメーションが表示されます。

5 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ビープ&再生	ビープ音のあとに選んだファイルを再生します。
ビープ	ビープ音のみを鳴らします。
再生	選んだファイルのみを再生します。

設定内容を変更するには

変更したいアラームが設定されているファイルを表示させ、手順2 ～ 5で変更したい内容を設定します。

設定内容を解除するには

手順2-③で「オフ」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押すと、アラームは解除されます。表示窓のアラーム表示が消えます。

設定した時刻になると

「ALARM」が表示されて、アラーム再生が始まります。

再生が終わると、自動的に停止します（アラームパターンで「ビープ&再生」または「再生」が設定されている場合は、アラーム再生したファイルの頭に戻ります）。

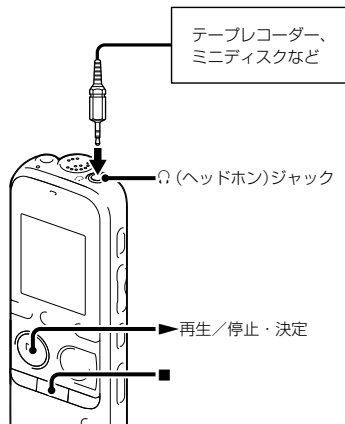
アラーム再生を止めるには

アラーム再生中に音量－／＋以外のボタンを押します。ホールド中は、どのボタンを押しても止められます。

ご注意

- 1件のファイルには1個のアラームしか設定できません。
- 時計を合わせていない場合や、録音したファイルがない場合は、アラーム設定はできません。
- メニューで「操作音」を「オフ」に設定していてもアラームが鳴ります（75ページ）。
- データ更新中にアラーム設定した時刻になった場合は、そのアラームは自動的に破棄されます。
- 2つ以上のアラーム設定時刻になった場合は、時刻の早い方のファイルのみアラームが鳴ります。
- アラーム設定したファイルを分割した場合、分けた時点より前のファイルにのみアラーム設定されます。
- アラーム設定したファイルを消去すると、ファイルに設定されたアラームも一緒に解除されます。
- メモリーカードに保存されているファイルには、アラーム設定できません。

接続して再生する

本機の音声をほかの機器で録音する

ほかの機器で本機の音声を録音できます。
録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。

1 本機の (ヘッドホン)ジャックとほかの機器の外部入力端子を、別売のソニー製オーディオコード(99ページ)を使ってつなぐ。

2 本機の ►再生/停止・決定ボタンを押して再生状態にし、同時に、つないだ機器の録音ボタンを押して、録音状態にする。

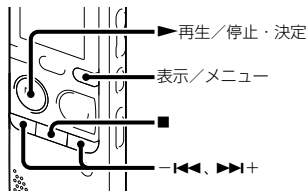
本機のファイルがほかの機器に録音されます。

3 録音を止めるには、本機の ■(停止)ボタンを押し、つないだ機器の停止ボタンを押す。

ヒント

録音された音量が適切でない場合は、本機の再生音量を調節してください(25ページ)。

フォルダ内のファイルを整理する

ファイルを別のフォルダに移動する

1 移動させたいファイルを選ぶ。

2 停止中に表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

3 －⏮または⏭＋ボタンを押して、「移動・コピー」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

4 －⏮または⏭＋ボタンを押して、「ファイル移動」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

5 －⏮または⏭＋ボタンを押して、移動先のフォルダを選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

「移動中...」のアニメーションが表示され、移動先フォルダの最終ファイルの位置にファイルを移動します。
移動すると、もとのフォルダからそのファイルはなくなります。

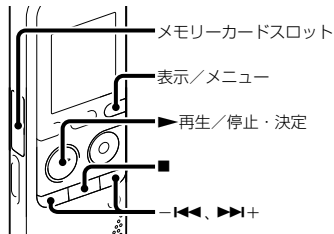
6 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中でファイルの移動をやめるには

手順5の前に ■（停止）ボタンを押します。

ご注意

- 保護されている（70ページ）ファイルは移動できません。
- 別のメモリーにはファイルは移動できません。

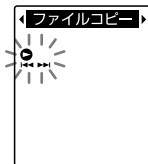
ファイルを別のメモリーにコピーする

内蔵メモリーとメモリーカード間でファイルのコピーができます。バックアップをとる場合などに便利です。操作を始める前に、ファイルコピーに使用するメモリーカードをメモリーカードスロットに入れてください。

1 コピーしたいファイルを表示する。

メモリーカードのファイルを内蔵メモリーにコピーするときは、メモリーをメモリーカードに切り換えます（39ページ）。

2 停止中に表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

3 −⏮または⏭＋ボタンを押して、「移動・コピー」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

4 −⏮または⏭＋ボタンを押して、「ファイルコピー」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

「メモリーカードへコピーします」または「内蔵メモリーへコピーします」のメッセージのあとに、コピー先選択画面が表示されます。

5 −⏮または⏭＋ボタンを押して、コピー先のフォルダを選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

「コピー中...」のアニメーションが表示され、コピー先フォルダの最後にコピーします。ファイルは同じファイル名でコピーされます。

6 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中でコピーをやめるには

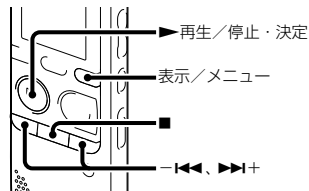
手順5の前に ■（停止）ボタンを押します。

コピー中に中止するには

手順5で「コピー中...」のアニメーションが表示されているときに、■（停止）ボタンを押します。

ご注意

- ファイルコピーを始める前に、電池残量を確認してください（16ページ）。残量が少ないとコピーできません。
- コピー先のメモリーの残量が少ない場合は、ファイルコピーができない場合があります。
- コピーの途中でメモリーカードの抜き差しおよび電源を切らないでください。ファイルが破損するおそれがあります。

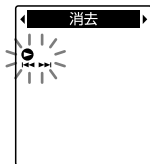
フォルダの中身を一度に消去する

ご注意

フォルダ内のファイルが保護設定されている場合（70ページ）、そのファイルは消去されません。

1 停止中に消去したいファイルの入っているフォルダを選ぶ。

2 表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

3 −⏮または⏭+ボタンを押して、「消去」を選び、▶再生／停止・決定ボタンを押す。

4 −⏮または⏭+ボタンを押して、「フォルダ内全消去」を選び、▶再生／停止・決定ボタンを押す。

「フォルダ内全消去？」と表示されます。

5 −⏮または⏭+ボタンを押して、「はい」を選び、▶再生／停止・決定ボタンを押す。

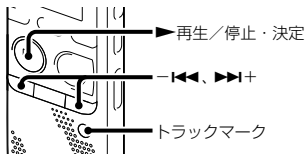
「消去中...」のアニメーションが表示され、フォルダ内の全ファイルが消去されます。

6 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で消去をやめるには

手順5で「いいえ」を選び、▶再生／停止・決定ボタンを押します。

トラックマークを使う

トラックマークを付ける

再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するために、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。

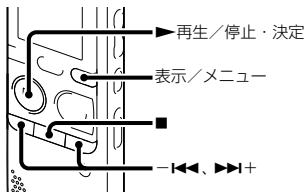
録音中、再生中、または録音一時停止中に、トラックマークを付けたい場所でトラックマークボタンを押す。
⚑（トラックマーク）表示とトラック番号が点滅し、トラックマークが設定されます。

ご注意

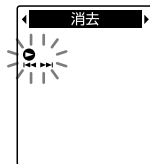
- トラックマークの0.5秒以内に別のトラックマークを設定することはできません。
- ファイルのはじめと終わりで、トラックマークの設定ができないことがあります。
- すでに98個のトラックマークがファイルに設定されている場合、新たに設定することはできません。
- 再生中にトラックマークを設定すると、再生が停止します。

トラックマークを付けた位置を探して聞くには

停止中に−◄◄または►►＋ボタンを押します。⚑（トラックマーク）表示とトラック番号が1回点滅したら、►再生／停止・決定ボタンを押します。

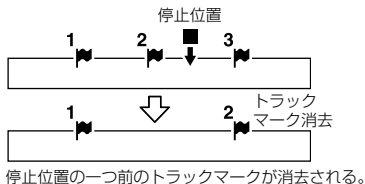
トラックマークを消去する

1 消去したいトラックマーク位置の後で停止する。

2 停止中に表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

3 −I◄◄または►►I＋ボタンを押して、「消去」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

4 −I◄◄または►►I＋ボタンを押して、「トラックマーク消去」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

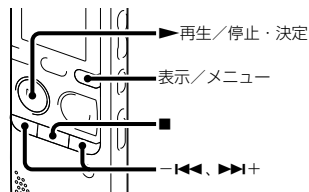
「トラックマーク消去？」と表示され、⚑（トラックマーク）表示とトラック番号が点滅します。

5 −I◄◄または►►I＋ボタンを押して、「はい」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

「消去中...」のアニメーションが表示され、設定したトラックマークは消去されます。

6 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

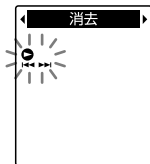
途中で消去をやめるには

手順5で「いいえ」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押します。

すべてのトラックマークを消去する

1 トラックマークを消去したいファイルを選ぶ。

2 停止中に表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

3 －I◀◀または▶▶I＋ボタンを押して、「消去」を選び、▶再生／停止・決定ボタンを押す。

4 －I◀◀または▶▶I＋ボタンを押して、「トラックマーク全消去」を選び、▶再生／停止・決定ボタンを押す。

「トラックマーク全消去？」と表示されます。

5 －I◀◀または▶▶I＋ボタンを押して、「はい」を選び、▶再生／停止・決定ボタンを押す。

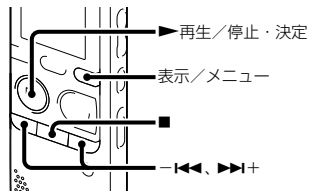
「消去中...」のアニメーションが表示され、すべてのトラックマークが一度に消去されます。

6 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で消去をやめるには

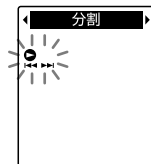
手順5で「いいえ」を選び、▶再生／停止・決定ボタンを押します。

ファイルを分割する

現在位置で分割する

停止中にファイルを分割して、その場所に新しいファイル番号が付けられます。会議など1件のファイルが長時間になったときなどに、複数のファイルに分割しておくと、再生したい場所がすばやく探せ、便利です。分割したいファイルが入っているフォルダのファイル数がいっぱいになるまで、ファイルを分割できます。

1 分割したい位置で停止する。

2 停止中に表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

3 −⏮または⏭＋ボタンを押して、「分割」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

4 −⏮または⏭＋ボタンを押して、「現在位置分割」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

「分割？」と表示されます。

5 −⏮または⏭＋ボタンを押して、「はい」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

「分割中...」のアニメーションが表示されて、分割元のファイルには「_1」が、新しいファイルには「_2」が付きます。

ファイル1	ファイル2		ファイル3
	ファイル分割		
ファイル1	ファイル2_1	ファイル2_2	ファイル3

分割したファイル番号の末尾に連番（「_1」、「_2」）が振られる。

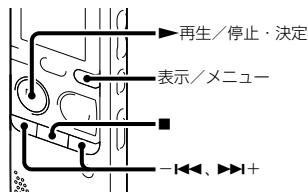
6 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意

- ファイルを分割するには、メモリーに一定の空き容量が必要です。
- ファイルタイトル、アーティスト名は分割した後ろのファイルも同じになります。
- 分割したファイルは元に戻せません。
- トラックマークから前後0.5秒以内の位置で分割した場合、そのトラックマークは消去されます。
- システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイルの分割ができないことがあります。

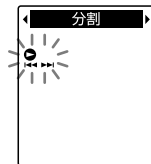
途中で分割をやめるには

手順5で「いいえ」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押します。

すべてのトラックマーク位置で分割する

1 分割したいファイルを選ぶ。

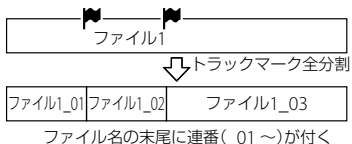
2 停止中に表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

3 －⏮または⏭＋ボタンを押して、「分割」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

4 －⏮または⏭＋ボタンを押して、「トラックマーク全分割」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

「トラックマーク全分割？」と表示されます。

5 −⏮または⏭+ボタンを押して、「はい」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

「分割中...」のアニメーションが表示されて、すべてのトラックマークが消去され、トラックマークの位置で分割します。ひとつのファイルから分割されたファイルには末尾に連番（_01 〜）が振られます。

6 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で分割をやめるには

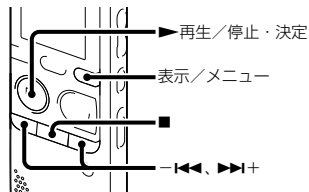
手順5で「いいえ」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押します。

ヒント

「トラックマーク全分割」の実行中に分割を中断したいときは、■（停止）ボタンを押すことで中断できます。分割が中断されるまでのファイルについては分割されます。

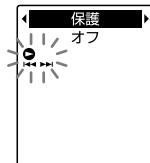
ご注意

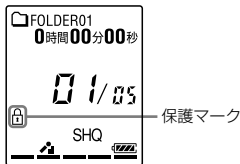
- ファイルを分割するには、メモリーに一定の空き容量が必要です。
- ファイルタイトル、アーティスト名は分割した後ろのファイルも同じになります。
- 分割したファイルは元に戻せません。

ファイルを保護する

大事なファイルを間違って消去、編集することがないように保護することができます。保護されたファイルには、🔒(保護)マークが表示され、消去、編集ができない読み取り専用ファイルになります。

1 保護したいファイルを表示する。

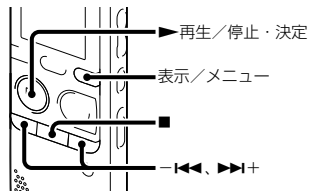
2 停止中に表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

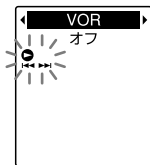
3 −I◄◄または►►I＋ボタンを押して、「保護」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

4 −I◄◄または►►I＋ボタンを押して、「オン」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

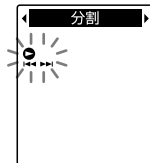
5 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

保護を解除するには

保護設定されたファイルを選び、手順2から手順5を実行します。その際、手順4で「オフ」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押します。

編集する

メニューの使いかた

1 表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

2 －◄◄または►►＋ボタンを押して、設定したい項目を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

「分割」、「移動・コピー」、「消去」、「詳細メニュー」を選んだ場合は、－◄◄または►►＋ボタンを押して、設定したいサブメニューの項目を選び、►再生／停止・決定ボタンを押します。

3 －◄◄または►►＋ボタンを押して、設定したい項目を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

4 −⏮または⏭＋ボタンを押して設定し、►再生／停止・決定ボタンを押す。

5 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意

操作しない状態が60秒以上続くと、メニューモードが自動的に解除され、通常の画面に戻ります。

1つ前の画面に戻るには

メニュー操作中に表示／メニューボタンを押します。手順2で「分割」、「移動・コピー」、「消去」、「詳細メニュー」を選んでサブメニューの項目選択画面が表示されている場合は、−⏮または⏭＋ボタンを押して、「[戻る]」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押すと、メインメニューに戻ります。

メニューモードを中止するには

■（停止）ボタンを押します。

メニュー項目一覧

メインメニュー	サブメニュー	参照ページ
VOR		36
DPC（速度調節）		48
イージーサーチ		46
アラーム		53
保護		70
分割		
	現在位置分割	66
	トラックマーク全分割	68
	［戻る］	–
移動・コピー		
	ファイル移動	57
	ファイルコピー	58
	［戻る］	–
消去		
	トラックマーク消去	63
	トラックマーク全消去	64
	フォルダ内全消去	60
	［戻る］	–

メインメニュー	サブメニュー	参照ページ
メモリー切り換え		39
詳細メニュー		
	録音モード	35
	マイク感度	35
	LCF(Low Cut)	36
	外部入力選択	36
	連続再生	50
	ノイズカットレベル	47
	ランプ	75
	時計設定	18
	時刻表示形式	75
	操作音	75
	オートパワーオフ	76
	フォーマット	76
	［戻る］	–

表示や本体の設定を変える

表示やランプの設定を選ぶことができます。
また、本体の操作音、オートパワーオフなどの設定を選ぶことができます。

1 停止中または録音中に表示／メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

2 −⏮または⏭＋ボタンを押して、「詳細メニュー」を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。

3 −⏮または⏭＋ボタンを押して、変更したい項目を選び、►再生／停止・決定ボタンを押す。
設定を変更します。

4 ■（停止）ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ランプ

録／再ランプの点灯、消灯を設定します。

オン*	動作中は録／再ランプが点灯または点滅します。
オフ	動作中も録／再ランプは点灯／点滅しません。

* お買い上げ時の設定

時刻表示形式

時刻表示形式を設定します。

12時間	12：00AM＝真夜中、12：00PM＝正午
24時間*	0：00＝真夜中、12：00＝正午

* お買い上げ時の設定

操作音

確認音を設定します。

オン*	操作時の受け付け確認音およびエラー時の操作音が鳴ります。
オフ	操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。

* お買い上げ時の設定

ご注意

「オフ」に設定していてもアラームは鳴ります。

オートパワーオフ

操作されないまま設定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。

5分	約5分後に電源が切れます。
10分*	約10分後に電源が切れます。
30分	約30分後に電源が切れます。
60分	約60分後に電源が切れます。
オフ	電源は自動的に切れません。

* お買い上げ時の設定

フォーマット

現在選択されているメモリー（内蔵メモリーまたはメモリーカード）を初期化します。メモリー内のすべてのデータを消去します。

はい	「フォーマット中...」のアニメーションが表示され、初期化します。
いいえ	初期化しません。

ご注意

- 本機で使うメモリーカードはパソコンでフォーマットしないでください。必ず本機で行ってください。
- あらかじめ初期化したいメモリーに切り換えてから（39ページ）、フォーマットを実行してください。
- メモリーの初期化をすると、メモリーに保存されていたすべてのデータが消去されます。（保護したファイルやSound Organizerも消去されます。）一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。

パソコンにつないで使う

本機とパソコンを接続すると、ファイルのやり取りが行えます。

ファイルを本機からパソコンにコピーして保存する（83ページ）

MP3ファイルをパソコンから本機にコピーして再生する（84ページ）

USBメモリーとして利用する（85ページ）

パソコンに保存されている画像やテキストファイルなどを一時的に保存することができます。

Sound Organizerでファイルを管理・編集する（86ページ）

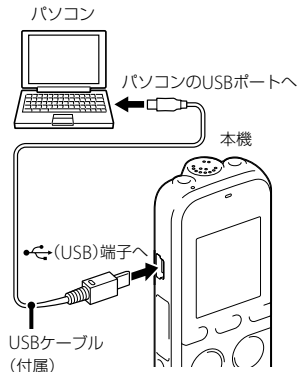
ソフトウェアSound Organizerを使って、本機で録音したファイルをパソコンに取り込んで管理・編集したり、パソコンに保存されているMP3ファイルやポッドキャストを本機に転送したりできます。

パソコンに必要なシステム構成

パソコンに必要なシステム構成については、87ページ、96ページをご覧ください。

ご注意

パソコン接続中は、本体の操作はできません。

本機をパソコンに接続する

本機とパソコンでファイルをやり取りするためには、本機をパソコンに接続します。

1 本機の ⭠ (USB)端子とパソコンのUSBポートを、付属のUSBケーブルで最後まで挿し込み接続する。

2 正しく認識されているかを確認する。

Windowsでは、「マイコンピュータ」または「コンピュータ」を開き、「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」が新しく認識されているかを確認してください。
MACでは、Finderに「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」という名前のドライブが表示されているかを確認してください。

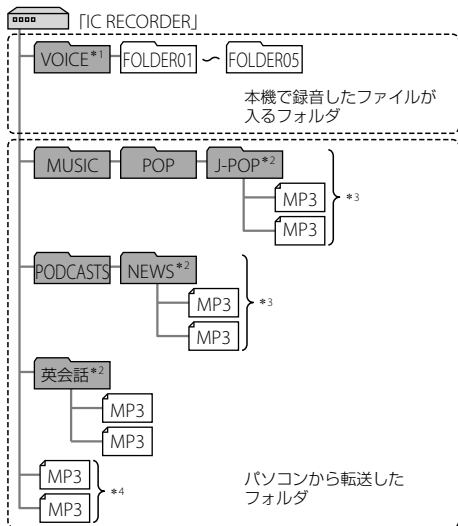
接続するとパソコン側で本機を認識することができ、ファイルのやり取りが行えます。
接続している間は本機の表示窓に「接続中」の表示が出ています。

ご注意

- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器を接続した場合の動作保証はいたしかねます。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず付属のUSBケーブルのみで接続してください。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコン接続時は必ず電池を挿入してからお使いください。
- パソコンとは必要なときだけ接続することをおすすめします。パソコンを使って操作しないときは、本機ははずしておいてください。

フォルダとファイルの構成

本機をパソコンに接続すると、フォルダやファイルの構成をパソコンの画面で見ることができます。WindowsではExplorerを使って、MACではFinderを使って、「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」を開くと、フォルダやファイルを表示できます。
パソコンの画面で見ると、次の図のように表示されます。

内蔵メモリーの場合

*1 VOICEフォルダ直下にファイルを転送しても、本機の タブには表示されません。ファイルを転送するときは、VOICEフォルダ配下のフォルダ内にファイルを入れてください。

*2 MP3ファイルやポッドキャストが保存されたフォルダ名は本機でも同じフォルダ名として表示されます。管理しやすいフォルダ名にしておくと便利です。
（図は、フォルダ名称の例です。）

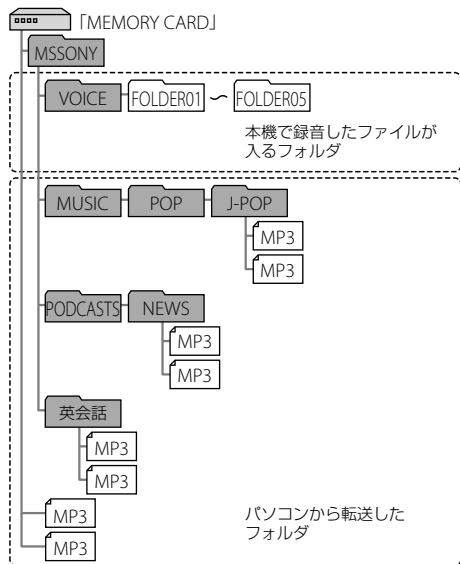
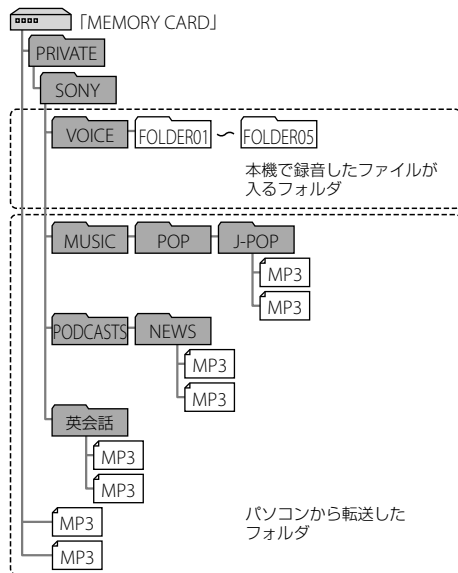
*3 MP3ファイルを認識できるのは、本機に転送したフォルダの8階層目までとなります。

*4 MP3ファイルを単独で転送すると「未分類」のフォルダとして扱われます。

ヒント

- 本機では、MP3ファイルに登録されているタイトル名やアーティスト名などの情報を表示することができますので、MP3ファイルを作成するソフトやパソコンで情報を入力しておくと便利です。
- タイトル名またはアーティスト名が登録されていない場合は、本機では「No Data」と表示されます。

本機のメモリーを「メモリーカード」に切り換えてから（39ページ）パソコンに接続した場合、内蔵メモリーの場合とはフォルダの構成が異なります。

メモリースティックマイクロ™(M2™)の場合

microSDカードの場合

本機で見たフォルダの構成

本機の表示窓で見たフォルダの構成は、パソコンで見た場合とは異なります。

フォルダの違いは、本機の表示窓に表示されるフォルダ表示で区別できます。

- ：本機で録音したファイルが入るフォルダ
- ：パソコンから転送したフォルダ（パソコンから転送したときに表示されます。）
- ：パソコンから転送したポッドキャストファイルが入るフォルダ（パソコンから転送したときに表示されます。）

ご注意

、フォルダに、本機で再生できるファイルが入っていない場合は、本機では表示されません。フォルダは、ファイルが入っていない場合もフォルダ表示が可能です。

本機で録音したファイルの表示

本機で録音したファイルが入るフォルダ（VOICEフォルダ配下のフォルダ）が表示されます。

パソコンから転送したMP3ファイルの表示

パソコンから転送したフォルダのうち、以下のフォルダが表示されます。

- MUSICフォルダ配下のフォルダのうち、中にファイルを含むフォルダ（階層が深い場合は、すべて並列に表示されます。）
- MUSICフォルダ配下またはPODCASTSフォルダ配下以外の場所に転送されたフォルダ
- 「未分類」フォルダ（単独で転送したMP3ファイルは、このフォルダ配下に表示されます。）

パソコンから転送したポッドキャストファイルの表示

パソコンから転送したポッドキャストファイルが入るフォルダが表示されます。
ポッドキャストファイルをパソコンから本機に転送する際は、付属のSound Organizerをご使用ください。

本機をパソコンから取りはずす

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、データが破損するおそれがあります。

1 本機の録／再ランプが消えていることを確認する。

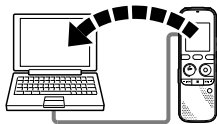
2 パソコンで下記の操作を行う。

Windowsの場合：
タスクバー（パソコンの画面右下）にあるアイコンを左クリックしてください。

→[IC RECORDERの取り外し]（Windows 7、Windows 8）または、[USB大容量記憶装置 − ドライブを安全に取り外します]（Windows XP、Windows Vista）を左クリックしてください。
アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。
お使いのパソコンの設定によっては、タスクバーにアイコンが表示されない場合があります。

MACの場合：
Finderのサイドバーに表示されている「IC RECORDER」の取り外しアイコンをクリックしてください。
パソコンから取りはずす方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

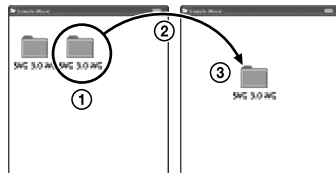
3 パソコンからUSBケーブルを取りはずす。

ファイルを本機からパソコンにコピーして保存する

本機にあるファイルやフォルダをパソコンにコピーして保存することができます。

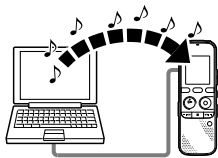
1 本機をパソコンに接続する（77ページ）。

2 保存したいファイルやフォルダをパソコンにコピーする。

「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」に入っているファイルやフォルダをパソコンのローカルディスクにドラッグアンドドロップします。

ファイルやフォルダをコピーする（ドラッグアンドドロップ）

①コピーしたいフォルダをクリックしたまま、
②保存先まで移動（ドラッグ）して、
③離す（ドロップ）

3 本機をパソコンから取りはずす（82ページ）。

MP3ファイルをパソコンから本機にコピーして再生する

パソコンに保存してあるMP3ファイルを本機にコピーして再生することができます。

パソコンにあるMP3ファイルを本機にドラッグアンドドロップしてコピーする

1 本機をパソコンに接続する（77ページ）。

2 パソコン内のMP3ファイルが入っているフォルダを本機にコピーする。

WindowsではExplorerを使って、MACではFinderを使って、MP3ファイルが入っているフォルダを「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」ににドラッグアンドドロップします。

本機では最大400個のフォルダまで認識できます。1個のフォルダには最大199のファイルを入れることができます。また、1つのメモリーに対して、フォルダとファイルを合計して最大4,095まで認識できます。

3 本機をパソコンから取りはずす（82ページ）。

コピーしたMP3ファイルを本機で再生する

1 フォルダボタンを押す。

2 －⏮ または ⏭＋ボタンを押して、MP3ファイルを入れたフォルダ（フォルダアイコン）を選び、► 再生／停止・決定ボタンを押す。

3 －⏮ または ⏭＋ボタンを押して再生したいMP3ファイルを選ぶ。

4 ► 再生／停止・決定ボタンを押して再生を始める。

5 再生を止めるには、■（停止）ボタンを押す。

ご注意

- パソコンからコピーしたMP3ファイルでは、再生はできますが、ファイルの分割、トラックマーク設定ができない場合があります。
- パソコンを使って、本機にコピーしたMP3ファイルは、システムの制約によりコピー順にならないことがあります。パソコンにあるMP3ファイルを1ファイルずつ本機にコピーすると、表示、再生の順番をコピー順に合わせることができます。

音楽再生時の画面表示について

表示・メニューボタンを押してMP3ファイルの情報を確認することができます。

：フォルダ名を表示
：ファイル名を表示
：タイトルを表示
：アーティスト名を表示

USBメモリーとして利用する

本機とパソコンをUSB経由で接続すると、パソコン上にある本機で録音したファイル以外の画像やテキストなどのファイルを本機に一時保存できます。
USBメモリーとして使うためには、一定の条件を満たしたシステム構成のパソコンが必要です。
OSの条件については「必要なシステム構成」（96ページ）をご覧ください。

Sound Organizerを使う

Sound Organizerでできること

Sound Organizerでは、本機やメモリーカードとファイルのやりとりができます。また、音楽CDなどから取り込んだ楽曲、パソコンから取り込んだMP3などの音声ファイルやポッドキャストを再生したり、本機に転送したりできます。取り込んだファイルは、再生、編集、MP3ファイルなどへの変換など、さまざまな操作ができます。また、お好みの音楽CDを作成したり、音声ファイルをメールで送信することができます。
使用方法の詳細はSound Organizerのヘルプをご覧ください。

本機で録音したファイルを取り込む

本機で録音した音声ファイルをSound Organizerに取り込めます。
取り込んだファイルはパソコンに保存されます。

音楽CDから楽曲を取り込む

音楽CDの楽曲をSound Organizerに取り込みます。
取り込んだ楽曲はパソコンに保存されます。

パソコン上のファイルを取り込む

パソコン上に保存されている音楽などのファイルをSound Organizerに取り込めます。

ポッドキャストを登録／更新する

Sound Organizerにポッドキャストを登録します。
ポッドキャストを登録／更新すると、インターネットから最新のデータをダウンロード（購読）して楽しむことができます。

ファイルを再生する

Sound Organizerに取り込んだファイルを再生します。

ファイルの曲情報を変更する

ファイル一覧に表示されるタイトル名、アーティスト名などの曲情報を変更します。

ファイルを分割する

1つのファイルを複数のファイルに分割します。

ファイルを結合する

複数のファイルを1つのファイルに結合します。

本機からファイルを削除する

本機に保存されているファイルを削除できます。
本機の空き容量を増やしたい場合や、不要なファイルがある場合などは、この操作で本機内のファイルを削除してください。

本機に転送する

Sound Organizerから本機やメモリーカードにファイルを転送します。
転送された音楽やポッドキャストなどを本機で楽しむことができます。

音楽CDを作成する

Sound Organizerに取り込んだ楽曲からお好みの楽曲を選んで、自分だけのオリジナル音楽CDを作成します。

その他の便利な使いかた

- メールソフトウェアを起動して、録音した音声ファイルを添付してメールで送信できます。
- Sound Organizerに対応した音声認識ソフトウェア「AmiVoice SP」または「Dragon NaturallySpeaking」(別売)を使って、ファイルを音声認識して文字に変換できます。

パソコンに必要なシステム構成

Sound Organizerを使用するためには、以下の環境が必要です。

OS

- Windows 8
- Windows 8 Pro
- Windows 7 Ultimate
- Windows 7 Professional
- Windows 7 Home Premium
- Windows 7 Home Basic
- Windows 7 Starter
- Windows Vista Ultimate Service Pack 2 以降
- Windows Vista Business Service Pack 2 以降
- Windows Vista Home Premium Service Pack 2 以降
- Windows Vista Home Basic Service Pack 2 以降
- Windows XP Media Center Edition 2005 Service Pack 3 以降
- Windows XP Media Center Edition 2004 Service Pack 3 以降
- Windows XP Professional Service Pack 3 以降
- Windows XP Home Edition Service Pack 3 以降

標準インストール(日本語版のみ)

ご注意

- 上記のOSがパソコン工場出荷時にインストールされている必要があります。
  アップグレードした場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- Windows XPについては、64ビット版のOSは動作保証いたしません。

以下の性能を満たしたIBM PC/ATおよびその互換機

- CPU
  Windows XP：Pentium III プロセッサー 500 MHz以上
  Windows Vista：Pentium III プロセッサー 800 MHz以上
  Windows 7：Pentium III プロセッサー 1 GHz以上
  Windows 8：Pentium III プロセッサー 1 GHz以上
- メモリー
  Windows XP：256 MB以上
  Windows Vista：512 MB以上（Windows Vista Ultimate/Business/Home Premiumの場合は1 GB以上推奨）
  Windows 7：1 GB以上（32ビット版）／ 2 GB以上（64ビット版）
  Windows 8：1 GB以上（32ビット版）／ 2 GB以上（64ビット版）
- ハードディスクの空き容量
  400 MB以上
  Windowsのバージョンによってはそれ以上使用する場合があります。
  また、音楽データを扱うための空き容量がさらに必要です。
- ディスプレイの設定
  画面の解像度：800×600ピクセル以上（1,024×768ピクセル推奨）
  画面の色：High Color（16ビット）以上
- サウンドボード
  SoundBlaster互換推奨
- USBポート
  機器・メディアをご使用になるには、使用可能なUSBポートが必要です。
  USBハブにて拡張されたUSBポートは特別に動作保証された機種以外での動作の保証はいたしません。
- ディスクドライブ：音楽CDを作成する場合はCD-R/RWドライブが必要です。

Sound Organizerをインストールする

Sound Organizerを本体の内蔵メモリーからパソコンのハードディスクなどにインストールします。

ご注意

- Sound Organizerをインストールするときは、Administrator（管理者）権限でログオンしてください。また、Windows 7、Windows 8をお使いで「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、内容をご確認の上、[はい]（Windows Vistaの場合は[続行]）をクリックしてください。
- Windows XPの制限ユーザーでは、Sound Organizerを起動できません。
- Windows XPでソフトウェアのアップデート機能を使うには、コンピューターの管理者としてログオンする必要があります。
- Sound OrganizerのインストールによってWindows Media Format Runtimeのモジュールが追加されます。Sound Organizerをアンインストールした場合でも、このモジュールは削除されません。
ただし、プリインストールされている場合にはインストールされないことがあります。
- Sound Organizerをアンインストールした場合にも、コンテンツ格納先フォルダ内のデータは消えません。
- 1台のパソコンに複数のオペレーティングシステムをインストールした環境では、それぞれのオペレーティングシステムにSound Organizerをインストールしないでください。データの不整合が生じる場合があります。

1 本機の •⇠（USB）端子とパソコンのUSBポートを、付属のUSBケーブルで最後まで挿し込み接続する。

接続方法については、「本機をパソコンに接続する」（77ページ）をご覧ください。

2 正しく認識されているかを確認する。

接続している間は本機の表示窓に「接続中」の表示が出ています。

3 Windowsの[スタート]メニューから、[コンピューター](または[マイコンピュータ])をクリックし、[IC RECORDER] → [FOR WINDOWS]をダブルクリックする。

画面はお使いのWindowsのバージョンによって異なります。本書では、Windows 7を例にして説明しています。

4 [SoundOrganizerInstaller_V140](または[SoundOrganizerInstaller_V140.exe])をダブルクリックする。

画面の指示に従って操作してください。
お使いのWindowsのバージョンによっては、この画面が表示されずに、セットアップの準備(解凍)が自動的に始まる場合があります。

5 使用許諾契約の内容を確認したら、「使用許諾契約に同意します」を選び、「次へ」をクリックする。

6 「インストールの種類」の画面が表示されたら、お好みで「標準」、「カスタム」のいずれかを 選び、「次へ」をクリックする。

「カスタム」を選んだ場合は、画面の指示に従い、インストール設定を行ってください。

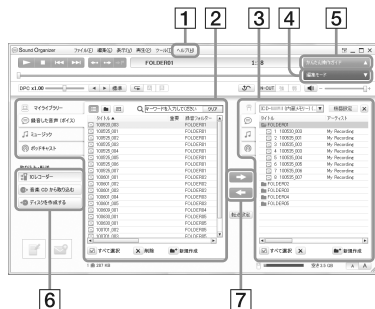
7 「インストールの開始」の画面が表示されたら、[インストール]をクリックする。

インストールが始まります。

8 「Sound Organizerは正常にインストールされました」の画面が表示されたら、「Sound Organizerを今すぐ起動する」をチェックし、「終了」をクリックする。

ご注意

Sound Organizerのインストール後、パソコンの再起動が必要になる場合があります。

Sound Organizerの基本操作について

1 ヘルプ

Sound Organizerのヘルプを表示します。各操作の詳細はヘルプを参照してください。

2 Sound Organizerファイル一覧(マイライブラリー)

Sound Organizerのマイライブラリーに含まれるファイルの一覧を、操作に合わせて表示します。

録音した音声(ボイス):録音した音声ファイルの一覧を表示します。

本機で録音したファイルを取り込むと、このライブラリーに表示されます。

♫ミュージック：音楽ファイルの一覧を表示します。音楽CDから楽曲を取り込むと、このライブラリーに表示されます。

ポッドキャスト：ポッドキャストの一覧を表示します。

3 ICレコーダーファイル一覧
パソコンに接続している本機またはメモリーカードに保存されているファイルが表示されます。

4 編集モードボタン
編集エリアを表示して、ファイルを編集できます。

5 かんたん操作ガイドボタン
Sound Organizerの基本的な機能をガイドする、「かんたん操作ガイド」を表示します。

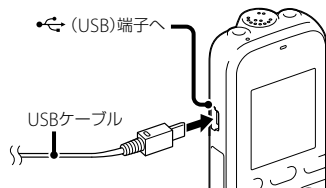
6 サイドバー（取り込み・転送）
ICレコーダー：転送画面を表示します。接続機器内のファイル一覧が表示されます。

音楽CDから取り込む：音楽CDの取り込み画面を表示します。

ディスクを作成する：ディスク作成画面を表示します。

7 ファイル転送ボタン
➡：Sound Organizerのファイルを本機またはメモリーカードに転送します。

⬅：本機・メモリーカードのファイルをSound Organizerのマイライブラリーに取り込みます。

USB ACアダプターにつないで使う

USB ACアダプター AC-UD20（別売）を使って、本機と家庭用電源（コンセント）をつなぐと本機を使用することができます。長時間録音をする場合などに便利です。

1 別売のUSB ACアダプターをコンセントにつなぐ。

2 付属のUSBケーブルにUSB ACアダプターをつなぐ。

3 本機の (USB)端子に、USBケーブルをつなぐ。

本機を取りはずす

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、本機にデータが入っている場合に、データが破損して再生できなくなるおそれがあります。

1 録音や再生などの動作中の場合、■（停止）ボタンを押して動作を停止する。

2 録／再ランプが点灯していないことを確認する。

3 本機をUSB ACアダプターから取りはずし、付属のUSBケーブルを、本機の (USB)端子からはずし、USB ACアダプターからもはずす。USB ACアダプターをコンセントから抜く。

ご注意

- 録音中（録／再ランプが赤に点灯、点滅）やアクセス中（録／再ランプがオレンジに点滅）はコンセントにつないだ状態のUSB ACアダプターから本機を抜き挿ししたり、本機を接続したUSB ACアダプターをコンセントから抜き挿ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。また、ファイル数が多いと、起動画面が長時間表示されることがありますが、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。
- USB ACアダプター（別売）使用時は、電池残量表示は表示されません。

使用上のご注意

ご使用場所について

運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ（60℃以上）。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 窓を閉めきった自動車内（特に夏期）。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - ほこりの多いところ。
- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
  - 洗面所などで本機をポケットに入れての使用。
    身体をかがめたときなどに、落として水濡れの原因になる場合があります。
  - 雨や雪、湿度の多い場所での使用。
  - 汗をかく状況での使用。
    濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに本機を入れると、水濡れの原因になることがあります。

- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、軽減されます。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、本機の故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ずメモリーカードにバックアップしてください。

メモリーカードのご使用について

ご注意

- フォーマット(初期化)は必ず本機で行ってください。パソコンなど本機以外の機器を用いてフォーマットしたメモリーカードは、本機での動作を保証しません。
- すでにデータが書き込まれているメモリーカードをフォーマットすると、そのデータが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないよう、ご注意ください。
- メモリーカードは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 録音／再生／フォーマット中は、メモリーカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 表示窓に「アクセス中...」のアニメーションが表示されている間や、録／再ランプがオレンジに点滅している間はメモリーカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- 対応仕様のメモリーカードでも、すべてのメモリーカードでの動作を保証するものではありません。
- M2™の対応表については、
http://www.sony.jp/products/ms/compatible/icrecorder.html
をご覧ください。
- "MagicGate™"(マジックゲート)は、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。本機は、MagicGate™によるデータ録音、再生には対応していません。

• 本機はパラレルデータ転送には対応していません。
• ROMタイプのメモリーカード、誤消去防止、書込み禁止のメモリーカードは、ご使用になれません。
• 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  – 読み込み中、書き込み中にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切った場合
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
• お客様の記録したデータの破損(消滅)については、弊社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。
• 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
• 端子部には手や金属などを触れないでください。
• 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
• 分解したり、改造したりしないでください。
• 水にぬらさないでください。
• 以下のような場所でのご使用はしないでください。
  – 使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
  – 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
• ご使用の際は正しい挿入方向をご確認ください。

主な仕様

必要なシステム構成

Sound Organizerを使う場合

Sound Organizerをお使いの場合は、87ページをご覧ください。

Sound Organizerを使わない場合

Sound Organizerを使わずにパソコンと接続する場合や、USBメモリーとして使う場合に必要なシステム構成は以下の通りです。

OS

• Windows 8
• Windows 8 Pro
• Windows 7 Ultimate Service Pack 1以降
• Windows 7 Professional Service Pack 1以降
• Windows 7 Home Premium Service Pack 1以降
• Windows 7 Home Basic Service Pack 1以降
• Windows 7 Starter Service Pack 1以降
• Windows Vista Ultimate Service Pack 2以降
• Windows Vista Business Service Pack 2以降
• Windows Vista Home Premium Service Pack 2以降
• Windows Vista Home Basic Service Pack 2以降

- Windows XP Media Center Edition 2005 Service Pack 3以降
- Windows XP Media Center Edition 2004 Service Pack 3以降
- Windows XP Professional Service Pack 3以降
- Windows XP Home Edition Service Pack 3以降
- Mac OS X（v10.3.9 ～ v10.8）（ヘルプガイドをインストールする場合は、V10.5.8以降）

標準インストール（日本語版のみ）

ご注意

- 上記のOSがパソコン工場出荷時にインストールされている必要があります。
アップグレードした場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- Windows XPについては、64ビット版のOSは動作保証いたしません。
- 最新の対応OSについては、130ページに記載のICレコーダー サポート・お問い合わせページをご覧ください。

以下の性能を満たしたWindowsコンピューターまたはMAC

- サウンドボード：各OSに対応したもの
- USBポート
- ディスクドライブ：音楽CDを作成する場合はCD-R/RWドライブが必要です。

ご注意

推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。また、自作パソコンなどへお客様自身がインストールしたものや、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニタ環境での動作保証はいたしません。

本機の仕様

容量（ユーザー使用可能領域）	
2 GB（約1.80 GB = 1,932,735,283 Byte） メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。	
最大フォルダ数（1ドライブ内）	
400フォルダ	
最大ファイル数（1フォルダ内）	
199ファイル	
最大ファイル数（1ドライブ内）	
4,074ファイル（フォルダ数が21の場合）	
周波数範囲	
SHQ	75 Hz ～ 20,000 Hz
HQ	75 Hz ～ 17,000 Hz
SP	75 Hz ～ 14,000 Hz
LP	75 Hz ～ 3,500 Hz

対応ファイルフォーマット		
MP3*[1]	ビットレート	32 kbps ～ 320 kbps、可変ビットレート(VBR)対応
	サンプリング周波数	16/22.05/24/32/44.1/48 kHz
	拡張子	.mp3
	*[1] これに加えて本機の各録音モードで録音したMP3ファイルの再生にも対応しています。すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。	

各録音モードのMP3対応サンプリング周波数、ビットレート	
SHQ	44.1kHz 192kbps
HQ	44.1kHz 128kbps
SP	44.1kHz 48kbps
LP	11.025kHz 8kbps

スピーカー
直径28 mm

入・出力端子
外部入力(ステレオミニジャック) プラグインパワー対応 最小入力レベル：0.6 mV
ヘッドホン(ステレオミニジャック) 負荷インピーダンス：8 Ω～ 300 Ω
USB端子(USB micro B 端子) High-Speed USB対応
メモリースティック マイクロ™(M2™) ／ microSD対応スロット

再生スピード調節(DPC)
2倍速～ 0.50倍速

実用最大出力
300 mW

電源
DC3.0 V、単4形アルカリ乾電池 (付属) 2本
DC2.4 V、単4形充電式ニッケル水素電池 (別売) 2本

動作温度
5℃～ 35℃

最大外形寸法
約37.5 mm×114 mm×20.9 mm (幅／高さ／奥行き)(JEITA*[2])

質量
約74 g (アルカリ乾電池2本含む)(JEITA*[2])
*[2] 電子産業技術協会(JEITA)の測定方法に基づいています。

付属品
7ページ参照

別売アクセサリー
アクティブスピーカー SRS-M50
エレクトレットコンデンサーマイクロホン ECM-CS10、ECM-CZ10、ECM-DS70P、ECM-DS30P、ECM-TL3、ECM-CS3
オーディオコード RK-G136
USB ACアダプター AC-UD20
充電式ニッケル水素充電池単4形 NH-AAA-2BKB
ニッケル水素電池専用充電器・充電池セット BCG34HW24K

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

最大録音時間[*3*4]

最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

録音モード	録音シーン	内蔵メモリー	メモリーカード				
		ICD-BX332	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
192kbps(MONO) (SHQ)	会議( ) インタビュー ( ) おけいこ( ) オーディオ入力( )	22時間20分	22時間20分	44時間40分	89時間25分	178時間	357時間
128kbps(MONO) (HQ)	ボイスメモ( )	33時間30分	33時間30分	67時間5分	134時間	268時間	536時間
48kbps(MONO) (SP)	ー	89時間25分	89時間25分	178時間	357時間	715時間	1,431時間
8kbps(MONO) (LP)	ー	536時間	536時間	1,073時間	2,147時間	4,294時間	8,589時

*3 連続録音の場合は、途中電池交換が必要になります。詳しくは電池の持続時間(101ページ)をご確認ください。

*4 表記の最大録音時間は目安です。カードの仕様によって変わることがあります。

電池の持続時間

乾電池の持続時間[*1]（ソニーアルカリ乾電池LR03（SG）を連続使用時）

録音モード	録音時	スピーカー再生時[*2]	ヘッドホン再生時
192kbps(MONO) (SHQ)	約65時間	約18時間	約48時間
128kbps(MONO) (HQ)	約65時間	約18時間	約48時間
48kbps(MONO) (SP)	約72時間	約18時間	約48時間
8kbps(MONO) (LP)	約96時間	約18時間	約48時間

充電式電池の持続時間[*1]（ソニー充電式ニッケル水素電池NH-AAA-2BKBを連続使用時）

録音モード	録音時	スピーカー再生時[*2]	ヘッドホン再生時
192kbps(MONO) (SHQ)	約45時間	約12時間	約34時間
128kbps(MONO) (HQ)	約45時間	約12時間	約34時間
48kbps(MONO) (SP)	約50時間	約12時間	約34時間
8kbps(MONO) (LP)	約65時間	約12時間	約34時間

*1 電子情報技術産業協会（JEITA）規格による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。

*2 音量レベルを14に設定し、内蔵スピーカーで音楽を再生した場合。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付（取扱説明書の裏面）されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口（130ページ）、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではICレコーダーの補修・性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、130ページに記載のICレコーダー サポート・お問い合わせページをご覧いただくか、ソニーの相談窓口(130ページ)までお問い合わせください。
なお、保証書とアフターサービスについては、102ページをご参照願います。
修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

こんなときは(本機)

分類	症状	原因/処置
ノイズ	ノイズが多く聞き取りにくい。	• 音声以外の周囲音が録音されてしまうことがあります。 → 再生時に、ノイズカット機能を「強」、「弱」に設定すると、プロジェクターや空調などの音声以外の周辺ノイズをカットします。全帯域のノイズを低減するため、人の声をクリアな音質で再生することができます。
	ノイズを少なく録音したい。	• LCF (Low Cut Filter)機能を「オン」に設定すると、ノイズを軽減した録音ができます。また、シーンセレクト機能を使うと、さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます。
	カサカサと音が録音されている。	• 録音したとき、本機に手などがあたったり、衣服とこすれたりすると雑音が録音されることがあります。 → 録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。
	ジリジリと音が録音されている。	• 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。 → 本機を離して録音してください。

分類	症状	原因／処置
ノイズ	外部マイク（別売）で録音すると、雑音が入る。	• 外部マイクのプラグが汚れています。 → プラグをきれいにクリーニングしてください。
	ヘッドホンで聞くと雑音が入る。	• ヘッドホンのプラグが汚れています。 → プラグをきれいにクリーニングしてください。
電源	電源が切れない。	• 停止中に、「電源オフ」のアニメーションが表示されるまで、ホールド・電源 入／切スイッチを「電源 入／切」の方向へスライドしてください（17ページ）。
	電源が入らない。	• 電源がオフになっています。 → ホールド・電源 入／切スイッチを「電源 入／切」の方向へ1秒以上スライドしてください（17ページ）。 • 電池の ⊕ と ⊖ の向きが正しくありません（15ページ）。
	電源が自動的に切れる。	• 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。（お買い上げ時は、設定は10分になっています。）メニューでオートパワーオフ設定を変更すると、電源オフまでの時間を変更できます（76ページ）。
	電池の持続時間が短い。	• 101ページの電池の持続時間は、音量レベルを14で再生した場合の目安です。使用条件によって短くなる場合があります。
	電池を入れたまま長い期間使用しない後で、使おうとすると電池がなくなっている。	• 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。長い間ご使用にならない場合は、こまめに電源を切る（17ページ）か、電池をはずしておくことをおすすめします。また、オートパワーオフ設定（76ページ）時間を短くしておくと切り忘れでの電池の消耗を抑えることができます。
充電	充電式電池の持続時間が短い。	• 5℃以下の環境で使用しています。電池の特性によるもので故障ではありません。 • しばらく使用していませんでした。何回か充電、放電（本機に入れて使用する）を繰り返してください。 • 充電式電池の交換が必要です。新しい充電式電池と交換してください。

分類	症状	原因／処置
動作	正常に動作しない。	• 電池を取り出して、もう一度入れ直してください。
	起動に時間がかかる。	• ファイル数が多いと、起動するのに時間がかかることがありますが、故障ではありません。停止画面になるまでお待ちください。
	操作ボタンを押しても動作しない。	• 電池が消耗しています（16ページ）。 • 電源がオフになっています。 → ホールド・電源 入／切スイッチを「電源 入／切」の方向へ1秒以上スライドしてください（17ページ）。 • ホールドがオンになっています。 → ホールド・電源 入／切スイッチを中央位置にスライドしてください（14ページ）。
	録／再ランプが点灯しない。	• メニューの「ランプ」が「オフ」に設定されています。 →「オン」に切り換えてください（75ページ）。
	変更したメニュー設定が反映されていない。	• 設定変更直後に電池が抜かれた場合、本機のメニュー設定が反映されないことがあります。
録音	録音できない。	• 録音残り時間が不足している場合は録音できません。
	録音が途中で止まる。	• VORが作動しています。VORを使用しないときは、メニューで「オフ」にしてください（36ページ）。
	ほかの機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。	• ほかの機器のヘッドホン端子を使って本機と接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。

分類	症状	原因／処置
再生	再生音量が小さい。	• 音量が絞られています。 → 音量－／＋ボタンを押して音量を調節してください(25ページ)。 • シーンセレクトが「ボイスメモ」( )または「オーディオ入力」( )になっています。 → 録音状況にあったシーンセレクトにしてください(33ページ)。 • マイク感度が「低」( )になっています。 → 「高」( )または「中」( )のいずれかに切り換えてください(35ページ)。
	スピーカーから音が出ない。	• 音量が絞られています(25ページ)。 • ヘッドホンをつないでいます(46ページ)。
	片方のチャンネルからしか音が出ない。	• ほかの機器の出力がモノラルの場合、「録音モード」が「192kbps(MONO)」(SHQ)または「128kbps(MONO)」(HQ)に設定されていると、片方のチャンネルにしか音が録音されません。その場合は、「録音モード」を「48kbps(MONO)」(SP)または「8kbps(MONO)」(LP)に設定してください(35ページ)。
	ヘッドホンをつないでいても、スピーカーから音が出る。	• 再生中にヘッドホンを差し込むとき、最後まで差し込まないとスピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。 → いったんヘッドホンを抜いて、最後までしっかり差し込んでください。
	再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。	• メニューの「DPC（速度調節）」が「オン」になっているため、調節した再生スピードで再生されています。 → 「DPC（速度調節）」を「オフ」にすると、通常の速度で再生されます。または、再生スピードを調節してください(48ページ)。
編集	ファイルを分割できない。	• メモリーに一定の空き容量がありません。 • 選んだフォルダ( )に199件のファイルが入っています。 → 不要なファイルを消去する(30ページ)か、別のメモリーに保存してから、メモリーの内容を消去してください。 • システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイル分割できないことがあります。

分類	症状	原因／処置
時計	時計表示が「--:--」になる。	• 時計を合わせていません（18ページ）。
	録音日時表示が「--y--m--d」または「--:--」になる。	• 時計を合わせていないときに録音したファイルには、録音した日付は表示されません。
表示	メニュー表示の項目が足りない。	• 再生、録音中は、表示されないメニューがあります。
	「アクセス中...」のアニメーション表示が消えない。	• ファイル数が多いと、長時間表示されることがありますが、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。
ファイル	「メモリーが一杯です」が表示され、録音できない。	• メモリーがいっぱいになっています。 → 不要なファイルを消去する（30ページ）か、別のメモリーに保存してから、メモリーの内容を消去してください。
	「ファイルが一杯です」が表示され、操作できない。	• 選んだフォルダ（□）に199件のファイルが入っているため、録音やファイル移動ができません。 → 不要なファイルを消去する（30ページ）か、別のメモリーに保存してから、メモリーの内容を消去してください。
	メモリーカードが認識されない。	• 本機のメモリーを「メモリーカード」に切り換えてください（39ページ）。 • メモリーカードを取り出し、裏表を確認して再度入れ直してください。
パソコン	ファイルコピーに時間がかかる。	• ファイルサイズによっては、コピーに時間がかかることがあります。実行が終わるまでお待ちください。
	変更したメニュー設定が反映されていない。	• 設定変更直後に電池が抜かれたり、電池残量が無い状態でSound Organizerの「本体設定」を使ってメニューの設定を変更した場合、本機のメニュー設定が反映されないことがあります。
	フォルダ名やファイル名が文字化けしてしまう。	• WindowsのエクスプローラまたはMACのFinderを使ってパソコンで名前を入力した場合、本機で対応していない特殊文字や記号が混ざっていると、本機の表示窓では文字化けすることがあります。

分類	症状	原因／処置
パソコン	ファイルコピーに時間がかかる。	• ファイルサイズによっては、コピーに時間がかかることがあります。実行が終わるまでお待ちください。
	パソコンで認識しない。 パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。	• パソコンから本機をはずし、再度接続してください。 • 付属のUSBケーブル以外のUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合は、付属のUSBケーブルを使って接続してください。 • 本機が対応しているシステム構成（96ページ）以外では、動作保証はいたしかねます。 • お使いのパソコンのUSBポートの位置によっては、認識できないことがあります。別のUSBポートに接続してください。
	本機に転送したファイルが表示されない、または再生されない。	• 表示できるファイルは8階層目までです。 • 本機で対応しているMP3(.mp3)以外のファイルは、表示されない場合があります。本機の仕様をご確認ください（97ページ）。
	パソコンが起動しない。	• 本機をパソコンに接続したまま、パソコンを起動すると、パソコンがフリーズしたり、起動しないことがあります。 → 本機をパソコンからはずして起動してください。

こんなときは（Sound Organizer）

Sound Organizerのヘルプもあわせてご覧ください。

症状	原因／処置
インストールできない。	• ハードディスクの空き容量が少なくなっています。 → 容量を確認してください。 • Sound Organizerが動作保証していないOSのパソコンにインストールしようとしませんでしたか？ → 対応しているOS（87ページ）のパソコンにインストールしてください。 • Windows XPの制限ユーザー、Windows Vista、Windows 7またはWindows 8のGuestアカウントでログオンしています。 →「コンピューターの管理者」に所属するユーザー名でログオンしてください。
本機と接続できない。	• ソフトウェアのインストール、接続ケーブルの接続などを正しく行ったか確認してください。 – 外付けUSBハブをご使用の場合には、直接パソコンに接続してください。 – 本機側の接続ケーブルを抜き差ししてください。 – 他のUSBポートで接続してみてください。 • システムサスペンド／システムハイパネーションモード（スタンバイ／スリープ／休止）に移行しています。 → システムサスペンド／システムハイパネーションモード（スタンバイ／スリープ／休止）に移行しないでください。 • 内蔵メモリーやメモリーカードのデータをパソコンにすべてバックアップした後で、内蔵メモリーおよびメモリーカードを本機で初期化してください（76ページ）。
パソコンからの再生音量が小さい、 パソコンから音が出ない。	• サウンドポートが付いていません。 • パソコンにスピーカーが内蔵または接続されていません。 • ミュートが解除されていません。 • パソコン側で音量を上げてみてください。（詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。） • WAVファイルの場合は、サウンドレコーダー（Windowsに搭載）で音量を上げて保存しなおすこともできます。

症状	原因／処置
保存したファイルが再生、編集できない。	• 対応していないファイル形式のファイルは再生できません。また、ファイル形式によっては一部の編集機能がお使いになれません。詳しくは、ヘルプをご覧ください。
カウンターやスライダーの動きがおかしい、 雑音が入る。	• 分割を行ったファイルをパソコン上で再生したときに発生する場合があります。 → いったんハードディスクに保存してから*再度本機に戻すと、データが最適化され、正常な再生に戻ります。(*本機の形式に合ったファイル形式で保存してください。)
ファイル数が多くなると動作が遅くなる。	• 録音時間の長さに関係なく、本機内のファイルの総数が多いと、処理に時間がかかることがあります。
ファイルの保存・追加・消去中に画面が動かなくなる。	• 録音時間の長いファイルの場合、コピーまたは消去に時間がかかります。 → コピーまたは消去が終了するまでお待ちください。通常の操作ができるようになります。
本ソフトウェアを起動したときフリーズ(ハングアップ)してしまう。	• 本機と通信を行っている間は絶対にケーブルを抜かないでください。パソコンの動作が不安定になったり、本機内のデータが壊れるおそれがあります。 • 他にインストールされているドライバおよびアプリケーションソフトとのコンフリクトの可能性があります。

メッセージ表示一覧

メッセージ	原因
ホールド中 解除してください	• 本機が誤操作防止(ホールド)状態になっているため、すべてのボタン操作が無効になっています。ホールド・電源 入／切スイッチを中央位置にスライドして、ホールドを解除してください(14ページ)。
電池残量がありません	• 電池が消耗しています。新しい単4形乾電池と取り換えてください。充電式電池の場合は、充電済みの電池と取り換えてください。
メモリーカードエラー	• メモリーカードスロットにメモリーカードを挿入時にエラーが発生しました。いったんメモリーカードを抜き差ししてください。それでも同じエラーが表示される場合は、別のメモリーカードをお使いください。
非対応のメモリーカードです	• 本機が対応していないメモリーカードが使われています。「本機で使用できるメモリーカード」をご覧ください(38ページ)。 • 正規品ではないM2™が使われています。「本機で使用できるメモリーカード」をご覧ください(38ページ)。
読み取り専用のメモリーカードです	• 読み取り専用メモリーカードが使われています。本機ではお使いいただけません。
メモリーカードがロックされています	• メモリーカードが書き込み禁止になっています。本機ではお使いいただけません。
アクセスは禁止されています	• アクセスコントロール機能が有効なメモリーカードが使われているため、ご利用できません。
メモリーが一杯です	• 録音できるメモリー容量がなくなりました。いくつかのファイルを消去してからやり直してください。
ファイルが一杯です	• フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、新規のファイルを作成できません。いくつかのファイルを消去してからやり直してください。

メッセージ	原因
ファイルが壊れています	• 選んだファイルのデータが破損しているので、再生や編集ができません。
本機でフォーマットが必要です	• メモリーカード内の別ファイル(画像データなど)によって、初期フォルダを作成するために必要な容量が不足しています。メニューで本機のフォーマットをしてください(76ページ)。
処理を継続できません	• 電池を抜き差ししてみてください。 • 必要なデータをバックアップしてからメニューで本機をフォーマットしてください(76ページ)。 • ファイル名が最大文字数に達しているため、分割、移動などできない場合があります。 • 上記で解決しない場合は、ソニーの相談窓口(130ページ)までご連絡ください。
停止後メモリーカードを再挿入して下さい	• 再生、録音処理中にメモリーカードを挿入したため、メモリーカードが認識できませんでした。一度メモリーカードを抜いてから、停止状態のときに、挿入してください。
時計を設定してください	• 時計合わせをしていないと、アラームは設定できません。
トラックマークが一杯です	• すでに上限までトラックマークを設定しているため、これ以上追加できません。不要なトラックマークを消去してください(63ページ)。
ファイルがありません	• 選んだフォルダには1件もファイルが録音されていません。ファイル移動とアラーム再生の設定などの操作ができません。
トラックマークがありません	• トラックマークが設定されていないため、トラックマークの消去、全分割が実行できません。
電池が残りわずかです	• 電池が残りわずかのため、フォーマットやフォルダ内全消去ができません。新しい単4形乾電池と取り換えてください。充電式電池の場合は、充電済みの電池と取り換えてください。
既に設定済みです	• 選んだファイルには既にアラーム再生が設定されています。別のファイルを選択してください。 • 既に別のファイルで同じ日時にアラーム再生が設定されています。設定を変更してください(53ページ)。
過去の日時です	• 現在日時よりも前の日時でアラームを設定しようとしています。年月日などもう一度確認して、設定し直してください(53ページ)。
ファイルが保護されています	• 選んだファイルが保護設定されています。消去などができません。メニューで「保護」を「オフ」にしてください(70ページ)。

メッセージ	原因
非対応のデータです	• 本機で対応していないファイル形式のデータです。
操作できません	• メモリーカードが後発不良(BADBLOCK)になった場合、データの書き込みができません。新しいメモリーカードを準備してください。 • 分割実行位置の前後0.5秒未満にトラックマークが設定されているため、「トラックマーク全分割」が実行できません。 • ファイルの先頭または終端から0.5秒未満にトラックマークが設定されているため、「トラックマーク全分割」が実行できません。 • ファイルの長さが1秒未満のため、分割できません。 • ファイルの先頭または終端から0.5秒未満では、「現在位置分割」は実行できません。 • ファイル名が最大文字数に達しているため、分割、移動などできない場合があります。
上限を超えるため分割できません	• フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、ファイルの分割はできません。不要なファイルを消去してからやり直してください。
同名のファイルが存在します	• 作成されるファイルと同名のファイルが存在しているため、ファイルの作成ができません。
メモリーカードがありません	• メモリーカードスロットにメモリーカードが挿入されていないため、「メモリー切り換え」、「ファイルコピー」の設定はできません。
新しいファイルで録音を継続します	• 録音中のファイルがファイルサイズの上限(500 MB)に達しています。ファイルは自動的に分割され、録音を継続します。
付近のトラックマークを消去しました	• 分割実行位置の前後0.5秒以内にトラックマークが設定されていた場合は、自動的に消去されます。
メモリーカードでは操作できません	• メモリーカードに保存しているファイルには、アラーム設定できません。本機のメモリーを「内蔵メモリー」に切り換えてください(39ページ)。
故障です	• 何らかの原因でシステムエラーが発生しています。一度電池をはずし、再度入れ直してください。それでも動作しない場合は、ソニーの相談窓口(130ページ)までご連絡ください。

システム上の制約

ICレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因／処置
最大録音時間まで録音できない。	• 様々な録音モードを混ぜて録音すると、最大録音時間は各モードの最大録音時間の間になります。 • 上記の理由により、実際に録音した時間（カウンター表示）の合計と、「録音可能時間」を合計した時間が、最大録音時間より少なくなる場合があります。
録音中に自動的に分割されてしまう。	• 録音中のファイルがファイルサイズの上限（500 MB）に達しています。ファイルは自動的に分割されます。
A-Bリピート設定で、設定位置がずれてしまう。	• ファイルによっては、設定位置がずれてしまうことがあります。
ファイルを分割すると、録音可能時間が少なくなる。	• ファイルを分割すると、ファイル管理をする領域が必要になるため、録音可能時間が少なくなります。

サポートホームページで調べる

サポートホームページを見るには

パソコンをインターネットに接続できる環境の場合、ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページ（http://www.sony.jp/support/ic-recorder/）でトラブルの解決方法や最新情報などを調べることができます。

サポートホームページでは、以下の情報などを見ることができます。

□ Q&A（よくある問い合わせ情報）
□ 動画でサポート（上手な録音方法（シーン別録音のコツ）など）
□ ソフトウェアアップデートなどの最新情報
□ 製品別サポート情報
□ Sound Organizerのソフトウェアの使いかた
□ 重要なお知らせ（サポートからの重要なお知らせ）
□ 製品登録（製品登録へのご案内）
□ Sound Organizerのダウンロードサービス

ヘルプガイドで調べる

パソコンなどでインターネットに接続できる環境の場合、ヘルプガイドページ（http://rd1.sony.net/help/icd/b33/jp/）で詳細な操作方法や困ったときの対処方法を調べることができます。

⚠注意　下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

分解禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。

禁止

- 本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。
  また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

バックアップのおすすめ
万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備としてパソコンまたはメモリーカードに保存してください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。
種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池
ニカド（Ni-Cd）
ニッケル水素（Ni-MH）
リチウムイオン（Li-ion）

乾電池
アルカリ、マンガン

ボタン型電池
リチウムなど

⚠危険 充電式電池、乾電池、ボタン型電池が液漏れしたとき

- 充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
- 液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口(130ページ)またはソニーサービス窓口に相談する。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるため、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談する。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるため、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。

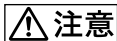
⚠危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と−を正しく入れる。
- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 長時間使用しないときは取りはずす。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

日本国内での充電式電池の廃棄について

ニッケル水素充電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素充電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

⚠警告 **乾電池、ボタン型電池について**

- 小さい電池は飲み込むおそれがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。**電池を飲み込んだときは、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。**
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

⚠注意 乾電池、ボタン型電池について

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子(金属部分)にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

著作権と商標について

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されております。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録されたメモリースティック™メディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

モジュールについて

Sound Organizerは、以下のソフトウェアモジュールを使用しています。
Windows Media Format Runtime

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac OSは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Pentiumは米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- microSDおよびmicroSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- "メモリースティック マイクロ"、"M2"および MEMORY STICK は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- "MagicGate"はソニー株式会社の商標です。
- AmiVoiceおよびAmiVoiceのロゴマークは株式会社アドバンスト･メディアの商標です。
- Nuance、Nuanceのロゴ、Dragon、Dragon NaturallySpeaking、RealSpeakは、米国とその他の国々におけるNuance Communications Inc.、およびその関連会社の商標または登録商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

本製品はメモリースティック マイクロ™(M2™)メディアに対応しています。
"M2™"は"メモリースティック マイクロ™"の略称です。
本文では今後略称M2™を用いて記述します。

索引

数字、記号、アルファベット順

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには→ICレコーダーサポート・お問い合わせへ（http://www.sony.jp/support/ic-recorder/）**
  ICレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。
- **電話・FAX でのお問い合わせは→ソニーの相談窓口へ（下記電話・FAX 番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは［IC レコーダー］です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

    ◆セット本体に関するご質問時：
    - 型名：ICD-BX332
    - シリアルナンバー：電池ボックス内
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆ソフトウェアに関連するご質問時：
    質問の内容によっては、お客さまのシステム環境について質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前に分かる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.jp/support/**

使い方相談窓口	フリーダイヤル	**0120-333-020**
	携帯電話・PHS・一部のIP電話	**0466-31-2511**
修理相談窓口	フリーダイヤル	**0120-222-330**
	携帯電話・PHS・一部のIP電話	**0466-31-2531**

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品（ハードウェア）が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別（出張修理、持込修理、引取修理）をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書（再発行しませんので、大切に保管してください）の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は、⑴お買上げの販売店、⑵お近くのソニーサービスステーション、⑶本書に記載の修理相談窓口の３種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	⑴⑵⑶	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	⑴⑵	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	⑶	製品の引取時に指定業者へ提出	

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用（実費）を申し受けます。
※2 ⑴⑵へのご依頼が難しい場合は、⑶にご相談ください。

2. お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。
3. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。

⑴本書のご提示がない場合⑵本書のお買上げの年月日、お客様名、販売店名を書き換えた場合⑶お買上げの年月日、販売店が確認できない場合⑷保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合⑸使用上の誤り（取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む）による故障・損傷⑹他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷⑺お買上げ後の移設、輸送、落下などによる故障・損傷⑻火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障・損傷⑼業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷⑽消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換

4. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。
5. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。
6. 本書に基づく無料修理（製品交換を含む）後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
7. 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
8. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。
9. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ	

＊本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
＊保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。

T01-1

保証書

持込修理

品名	ICレコーダー
型名	ICD-BX332
お買い上げ日	平成・西暦　　年　　月　　日

本書は、本書記載内容（裏面記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様欄にご記入の上、修理をお申付けください。

販売店	

お問合せ先：修理相談窓口
フリーダイヤル：**0120-222-330**（FAX 0120-333-389）
携帯電話・PHS・一部のIP電話からは、0466-31-2531
ホームページ：http://www.sony.jp/support/
ソニーマーケティング株式会社
東京都港区港南1-7-1 〒108-0075

保証期間	お買上げの日から　１年
お客様住所 お名前	電話　　-　　- 様

T01-1